

取扱説明書

米品質管理 データベースソフト x64 RQCD01A



安全上のご注意

弊社製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」と本内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本内容には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示の意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから、正しくお使いください。



警告

人が死亡または重症を負うおそれがある
内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるお
それがある内容を示しています。

重要なお知らせ



警告

- この取扱説明書を読み、理解するまでは本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行わないでください。
- この取扱説明書は本ソフトウェア及び機器の操作を行う場合に、いつでも調べられるよう大切に保管してください。
- 本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行う場合は、必ずこの取扱説明書の指示・注意に従ってください。
もし、疑問点や不明な点がある場合には、最寄りの営業所に問合
わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改
造がなされたために、怪我や損害が発生しても、株式会社サタケ
は一切その責任を負いません。

ご使用前に必ずお読みください

● 許諾事項及び禁止事項

本使用許諾契約の対象となるソフトウェア(以下、単に「本ソフトウェア」といいます)は、サタケ及び本ソフトウェアの使用許諾権者の所有物であり、著作権法によって保護されています。サタケは本ソフトウェアの所有権を引き続き保持しますが、本使用許諾契約に同意したお客様に、本ソフトウェアの一定の使用権を設定します。本使用許諾契約が許諾補遺条項によって修正される場合を除き、設定される本ソフトウェアの使用権は以下の通りです。

許諾事項

- (1) 本ソフトウェアのコピーを一つだけ、一台のパソコンで使用する。
- (2) 本ソフトウェアをネットワーク上で使用すること。ただし、ネットワークを介して本ソフトウェアを使用出来る全てのパソコンが、本ソフトウェアの使用を正式に許可されている場合に限りです。
- (3) サタケに対する書面による通知の後、本ソフトウェアを他人(法人を含む)に永久的に譲渡すること、ただし譲り受け人が本使用許諾契約に同意した場合に限りです。

禁止事項

- (1) 本ソフトウェアに附属しているマニュアルなどの文書をコピーすること。
- (2) 本ソフトウェアの一部または全部を問わず、再使用許諾、貸与、または、リースをすること。
- (3) リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、または、本ソフトウェアのソースコードを調べる行為、もしくは、本ソフトウェアから派生品を制作すること。

本ソフトウェアのバージョンアップ用の記録媒体または以前のバージョンとそっくり置き換えられる新バージョンを受け取った場合に、その後も本ソフトウェアの以前のバージョンまたはそのコピーを使用すること。ただし、以前のバージョンを何らかの慈善団体に寄付する場合で、その慈善団体が寄贈された製品の唯一のエンド・ユーザーになること、および本使用許諾契約に従うことに書面によって同意している場合は、この限りではありません。本ソフトウェアのバージョンアップの際に、以前のバージョンをこのような方法で寄贈しないかぎり、以前のバージョンの全てのコピーは破棄しなければなりません。

- (4) 本ソフトウェアに付属のプロテクトキー (USBメモリ) の警告シールを剥ぎ取ってははいけません。また警告シールを剥ぎ取り、ライトプロテクトスイッチをOFFに切り替えてはいけません。警告シールが剥がされた場合には保証を受けることが出来ません。



● 保証

この保証内容に違反する事態が生じた場合、お客様の唯一の救済方法として、サタケは保証期間内に返送を受けた瑕疵のある媒体の代品を提供するか、本ソフトウェアのご購入代金の払い戻しをいたします。ただし、どちらの方法を採るかはサタケが決定するものとします。サタケは本ソフトウェアがお客様の要望にかなうものであること、本ソフトウェアの操作に障害が発生しないこと、及び、本ソフトウェアの内容に誤りがないことを保証するものでもありません。

上記の保証がサタケの行う保証の全てであり、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、および、法律違反・権利侵害が存在しないことを含む明示的、黙示的な一切の保証に代わるものです。上記の保証は、お客様に特定の法的権利を付与しますが、国によっては、法律でお客様にその他の権利が与えられることがあります。

● 損害賠償の免責

本書記載の救済方法によりその目的が達成できるかどうかにかかわらず、サタケは、特別損害、偶発的損害、間接損害、または、これに類似する損害に対する一切の責任を負いません。そのような損害には、本ソフトウェアの使用またはその使用不能により生じたお客様の得べかりし利益の喪失やデータ消失も含まれます。そのような損害が生じる可能性についてサタケが以前から警告を受けていたとしても、損害に対する責任をサタケが負うことはありません。

国によっては、上記のような偶発的、間接的な損害に対する責任の限定または免除を認めていないことがあります。お客様がそのような国にお住まいの場合は、上記の責任限定・免責規定は適用されないことがあります。

いかなる場合にせよ、サタケの賠償責任が、本ソフトウェアのご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定・免責規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かにかかわらず適用されます。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

0) ソフトウェアの起動と画面選択	- 1 -
0-1 .NET Framework3.5 の有効・無効の確認	- 1 -
0-2 .NET Framework3.5 の有効化	- 3 -
0-3 インストール手順の確認	- 5 -
0-4 米品質管理データベースソフト x64 のインストール	- 6 -
0-5 アクセスデータベースエンジンのインストール	- 9 -
0-6 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI10/20 型の場合	- 10 -
0-7 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI90 型の場合	- 11 -
0-8 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定	- 15 -
0-9 USB シリアルコンバータードライバーのインストール	- 17 -
0-10 米品質管理データベースソフト x64 のアンインストール	- 18 -
0-11 アクセスデータベースエンジンのアンインストール	- 18 -
0-12 食味計通信用 USB シリアルコンバータードライバーのアンインストール	- 18 -
0-13 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのアンインストール	- 19 -
0-14 米品質管理データベースソフト x64 のバージョンアップ方法	- 19 -
1) ソフトウェアの起動と画面選択	- 20 -
1-1 ソフトウェアの起動	- 20 -
1-1-1 ソフトウェアの起動	- 20 -
1-1-2 メニュー	- 20 -
1-1-3 測定画面の違い	- 21 -
2) 運転前の設定	- 23 -
2-1 穀粒判別器シリアル通信設定 RGQI90 型	- 23 -
2-2 穀粒判別器本体の通信設定変更 RGQI90 型	- 24 -
2-3 食味計シリアル通信設定	- 25 -
2-4 食味計本体の通信設定変更	- 27 -
3) 測定画面の操作	- 28 -
3-1 サンプル測定の流れ	- 28 -
3-2 サンプル詳細欄	- 32 -
3-2-1 サンプル詳細欄の表示	- 32 -
3-2-2 サンプル詳細欄の設定	- 32 -
3-2-3 穀粒判別器に関する測定方法の設定	- 34 -
3-3 受信画像の表示	- 36 -
3-3-1 受信画像の表示	- 36 -
3-3-2 画像画面の機能	- 36 -
3-4 印刷(単票印刷)	- 38 -
3-4-1 単票印刷設定の表示	- 38 -
3-4-2 単票印刷の機能	- 39 -
4) 測定画面の操作	- 40 -
4-1-1 一覧画面	- 40 -
4-1-2 測定データの一覧表示	- 41 -

4-1-3	測定データの詳細表示	41
4-1-4	一覧コマンド	41
4-2-1	一覧の基本的な操作	43
4-3-1	検索条件の入力	45
4-3-2	検索条件の使用、未使用	45
4-3-3	検索開始	45
4-3-4	詳細な条件	45
4-4-1	一覧項目の表示	46
4-4-2	一覧項目表示設定の操作	46
4-5-1	画像の表示	47
4-6-1	印刷設定画面の表示	47
4-6-2	印刷設定の機能	48
4-7-1	CSV ファイル出力	49
4-7-2	CSV 出力設定画面	50
4-7-3	CSV 出力設定	50
4-8-1	分布グラフ画面	52
4-8-2	分布グラフ機能で出来ること	52
4-8-3	分布グラフの操作	53
4-9-1	粒選シミュレータ画面	54
4-9-2	粒選シミュレータ機能で出来ること	54
4-9-3	粒選シミュレータの操作	55
4-10-1	データ削除とデータ出力	57
4-10-2	データ削除	57
4-10-3	データ出力	58
5)	設定画面の操作	59
5-1	設定画面の基本的な機能	59
5-1-1	設定画面の表示	59
5-1-2	設定で出来ること	59
5-2	表示設定 1	60
5-2-1	表示設定 1 の変更	60
5-3	表示設定 2	61
5-3-1	表示設定 2 の変更	61
5-4	印刷設定	63
5-4-1	印刷設定の変更	63
5-5	マスタ設定	64
5-5-1	表示設定の変更	64
5-6	通信設定	67
5-6-1	通信設定の変更	67
5-7	保存設定	68
5-7-1	保存設定の変更	68
6)	保守画面の操作	69

- 6-1 保守画面の基本的な機能..... - 69 -
 - 6-1-1 保守画面の表示 - 69 -
 - 6-1-2 保守で出来ること - 69 -
- 6-2 測定データ読み込み - 70 -
 - 6-2-1 測定データ読み込みの操作 - 70 -
- 6-3 マスターデータ移動と読み込み - 71 -
 - 6-3-1 マスターデータ移動と読み込みの操作 - 71 -
- 6-4 旧データベースソフトデータ読み込み - 72 -
 - 6-4-1 旧データベースソフトデータ読み込みの操作 - 72 -
- 7) 測定分類について - 73 -
 - 7-1 穀粒判別器の測定分類 - 73 -
 - 7-1-1 うるち玄米の測定分類 - 73 -
 - 7-1-2 うるち精米の測定分類 - 73 -
 - 7-1-3 醸造用玄米の測定分類 - 74 -
- 8) Q & A..... - 75 -

0) インストール・アンインストール

本製品をご利用いただく上で必要となる以下のソフトウェア①～④を順にインストールします。

- ① 米品質管理データベースソフト
- ② アクセスデータベースエンジン
- ③ 穀粒判別器 USB ドライバー
- ④ 食味計通信用 UC232A ドライバー

■ 必ずご確認ください！

- ソフトウェアは必ず本書の手順に従ってインストールしてください。
- ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限のあるユーザー (Administrators 権限) でログオンする必要があります。
- パソコンの再起動の指示が表示された場合、再起動を行ってください。
- ソフトウェアのインストールを行う場合、起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- セキュリティの関係でインストール出来ない場合は貴社システム部門に確認してください。

※ パソコン・OSの違いにより画面が本書と異なることがございますがご了承ください。

0 - 1 .NET Framework3.5 の有効・無効の確認

本ソフトウェアでは、.NET Framework3.5 を使用しています。

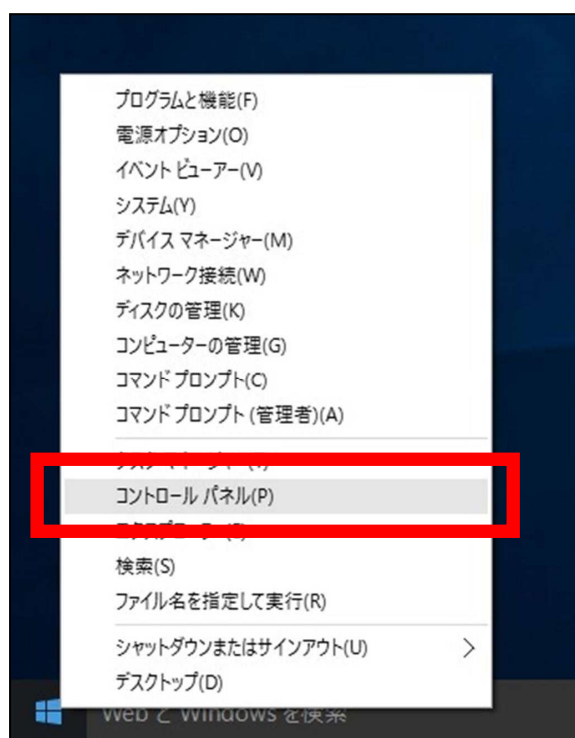
お使いのパソコンにて、.NET Framework3.5 が有効でないと、ソフトウェアのインストールを正常に完了出来ません。

.NET Framework3.5 が有効かどうかの確認を行います。

- ① 画面左下の 『スタートボタン』 を右クリックします。



② 『コントロールパネル(P)』 をクリックします。



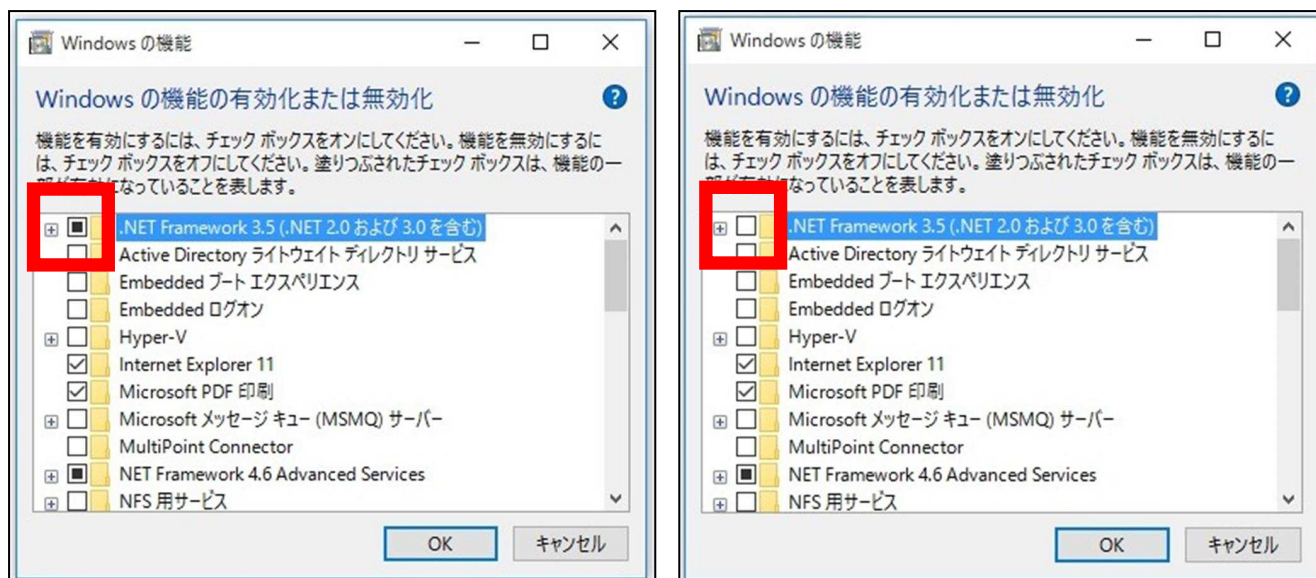
③ 『プログラム』 をクリックします。



④ プログラムと機能の 『Windows の機能の有効化または無効化』 をクリックします。



- ⑤ 『.NET Framework3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)』にチェックが入っているか確認します。



左のようにチェックが入っている場合は P- 6 - 『0 - 4 米品質管理データベースソフト x64 のインストール』へ進みます。

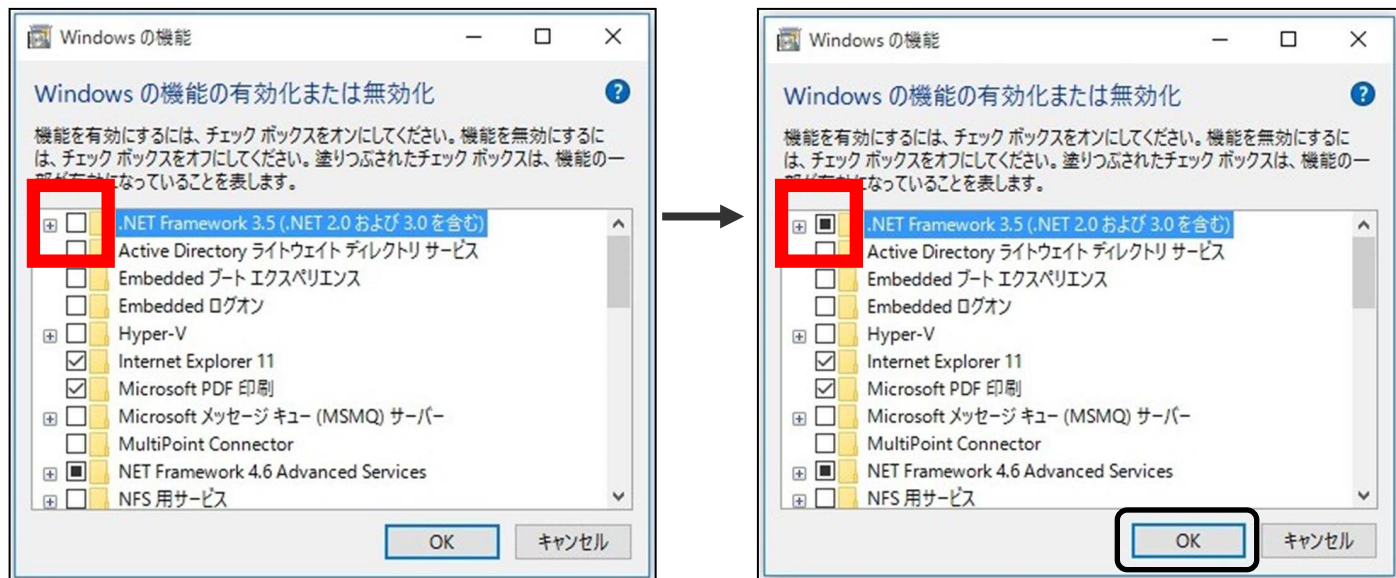
右のようにチェックが入っていない場合は P- 3 - 『0 - 2 .NET Framework3.5 の有効化』へ進みます。

0 - 2 .NET Framework3.5 の有効化

.NET Framework3.5 の機能を有効にします。

- ① パソコンがインターネットに接続されている場合

『.NET Framework3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)』にチェックを入れます。



『.NET Framework3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)』が有効になったら、『OK』を押し、P- 6 - 『0 - 4 米品質管理データベースソフト x64 のインストール』へ進みます。

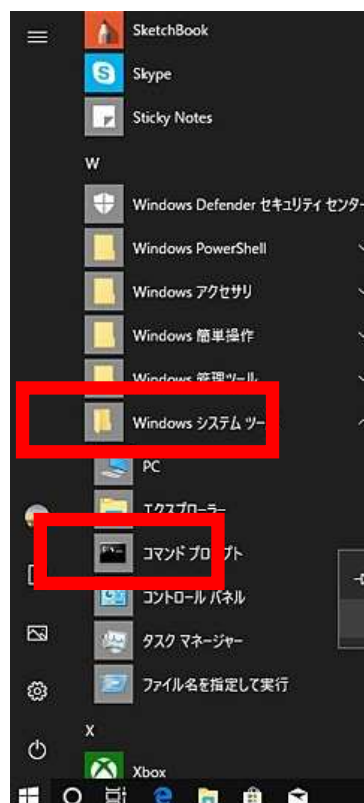
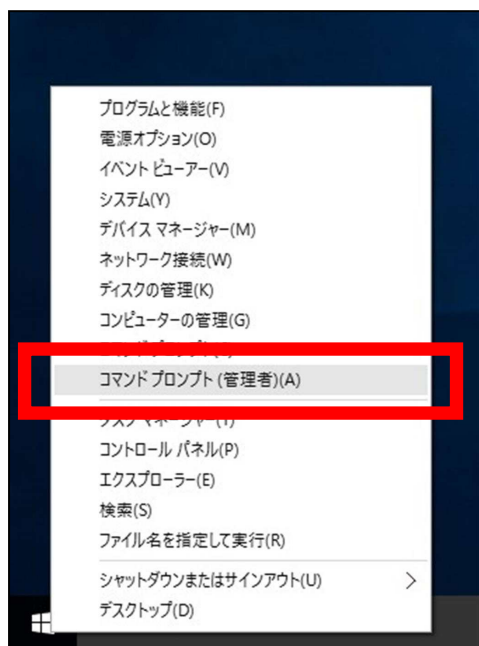
- ② PC がインターネットに接続されていないオフライン使用の場合

(1) OS のセットアップ DVD をドライブに挿入します。

(2) 画面左下の『スタートボタン』を右クリックします。



(3) 『コマンドプロンプト(管理者)』をクリックします。 Windows10 の場合

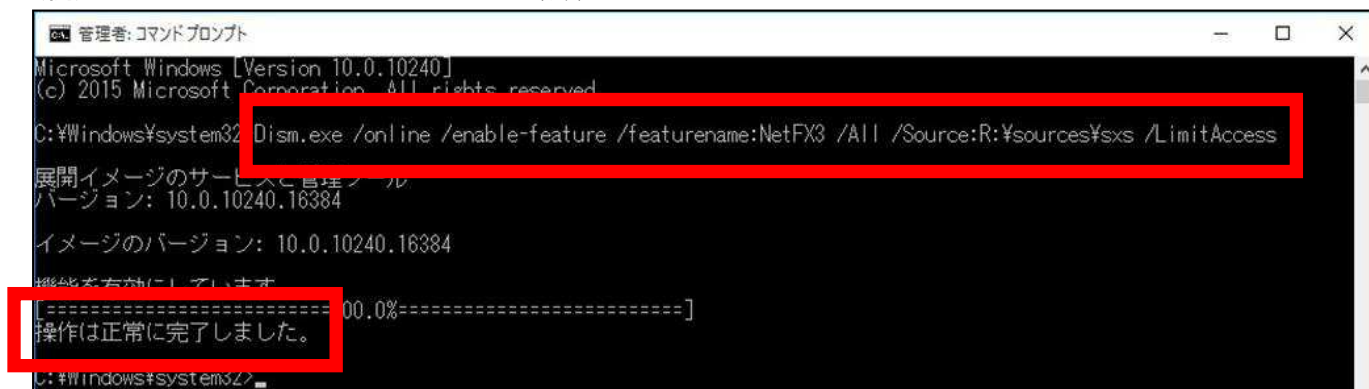


(4) 下記コマンドを入力して、Enter キーを押します。

**Dism.exe /online /enable-feature /featurename:NetFX3
/All /Source:"DVD のドライブ名":¥sources¥sxs /LimitAccess**

※ 【/】 の前のみ全て半角スペースが入ります。

(例) DVD を R ドライブに入れている場合



「操作は正常に完了しました。」 と表示されれば、設定完了です。

コマンドプロンプトの右上の『×』を押してコマンドプロンプトを閉じてください。

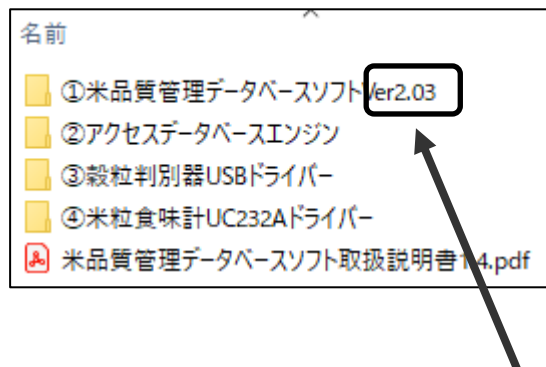
0・3 インストール手順の確認

① 本ソフトウェアに付属の USB メモリをパソコンに接続してください。

※ USB メモリの中にインストーラーと取扱説明書が保存されています。またソフトウェアのプロテクトキーの機能を有しています。

プロテクトキー： USB メモリがパソコンに接続されている場合に本ソフトウェアが動作します。

② USB メモリの中身をエクスプローラーで開きます。



③ 本ソフトウェアのバージョンを確認します。Ver○. ○○

④ USB メモリ内の『米品質管理データベースソフト取扱説明書○.pdf』の手順に従い、本ソフトウェア及びドライバーをインストールします。

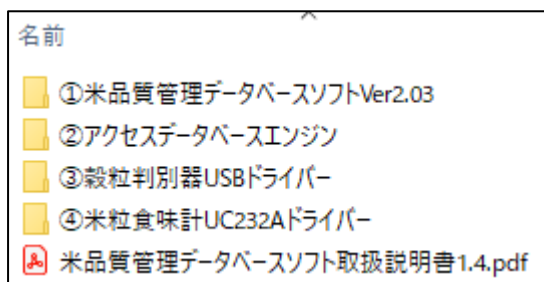
⑤ 古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合、P・18・『0・10 米品質管理データベースソフト x64 のアンインストール』を参照して、先にアンインストールを行ってください。

0-4 米品質管理データベースソフト x64 のインストール

- ① サタケホームページにて米品質管理データベースソフト x64 の最新バージョンが公開されていないか確認します。(※インターネット接続が必須です。)

<https://satake-japan.co.jp/support/download.html>

ホームページに公開されているバージョンの方が新しい場合はそちらをダウンロードしてください。ダウンロードした後に解凍し、フォルダの中身を開いてください。



USB メモリの中身と同じ構成になっています。

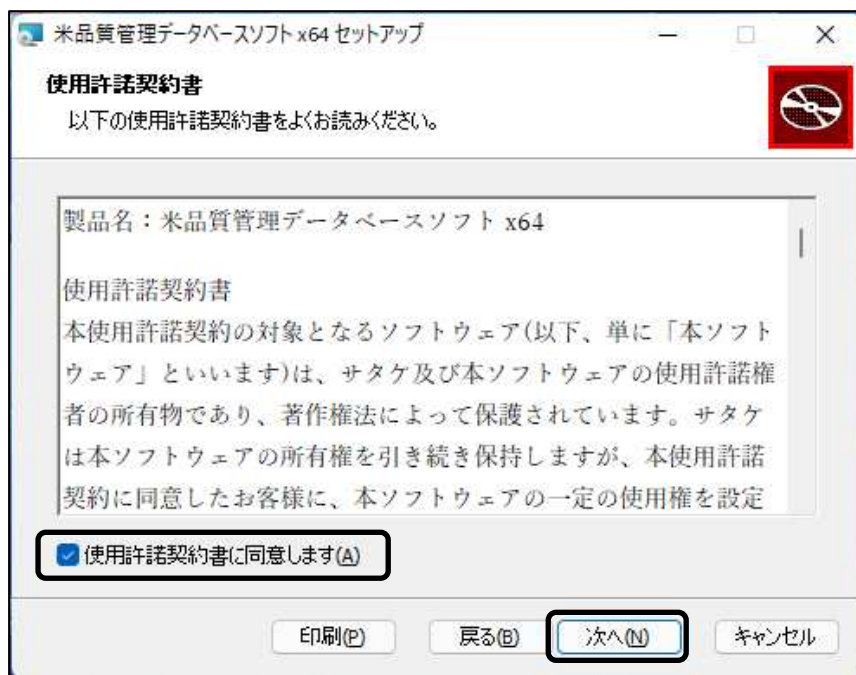
- ② 『米品質管理データベースソフト x64』 ソフトウェアをインストールします。

USB メモリ内の『①米品質管理データベースソフト Ver〇.〇〇』 - 『setup.msi』 をダブルクリックして実行します。

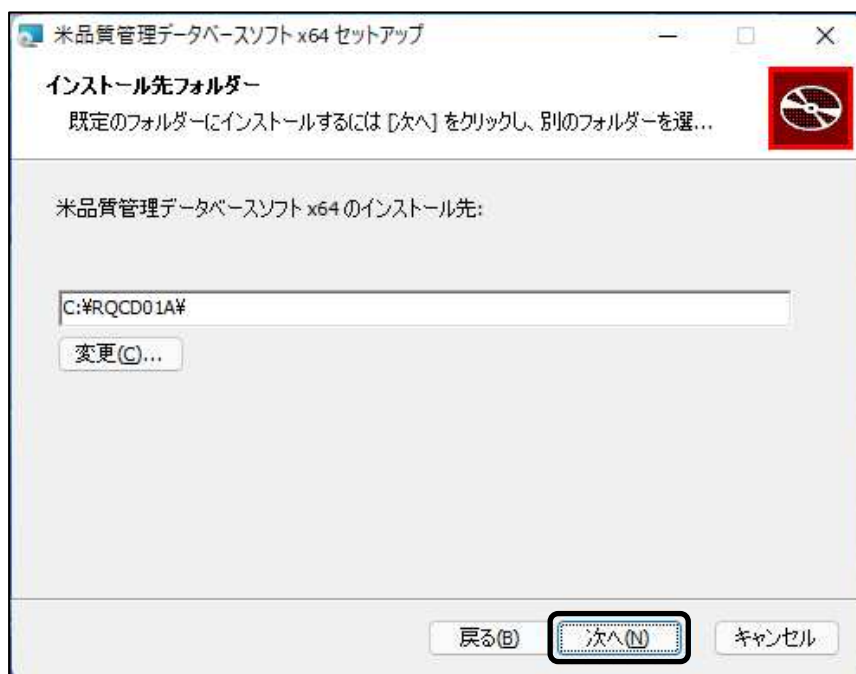
- ③ 『次へ(N)』 をクリックします。



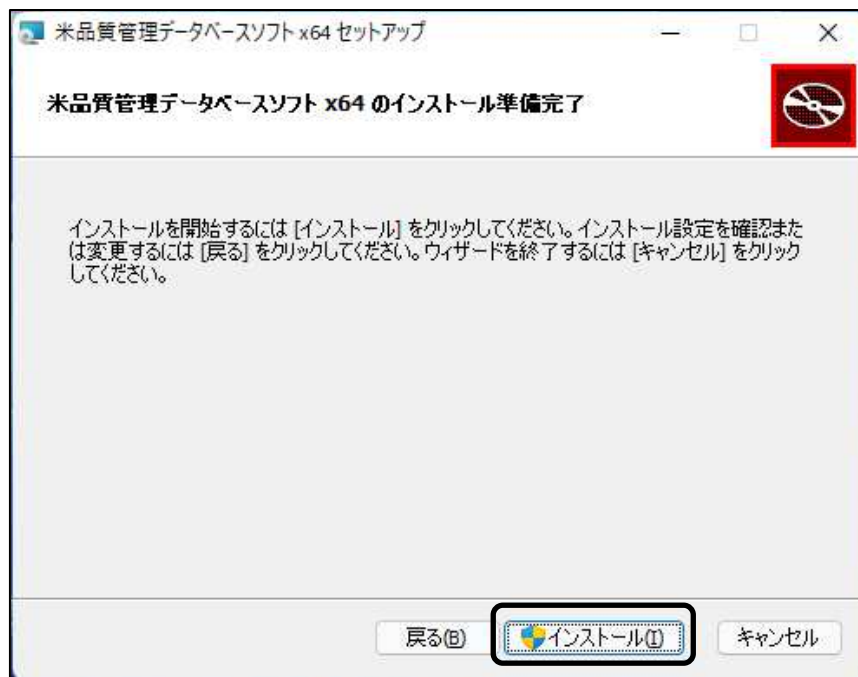
- ④ 使用許諾契約書の確認を行い、『使用許諾契約書に同意します(A)』にチェックを入れて『次へ(N)』をクリックします。



- ⑤ 通常は C ドライブの RQCD01A フォルダにインストールするように設定されています。ドライブを確認し問題がなければ『次へ(N)』をクリックします。※インストール先は変更せずにインストールすることをお勧めします。



⑥ 『インストール(I)』 をクリックします。



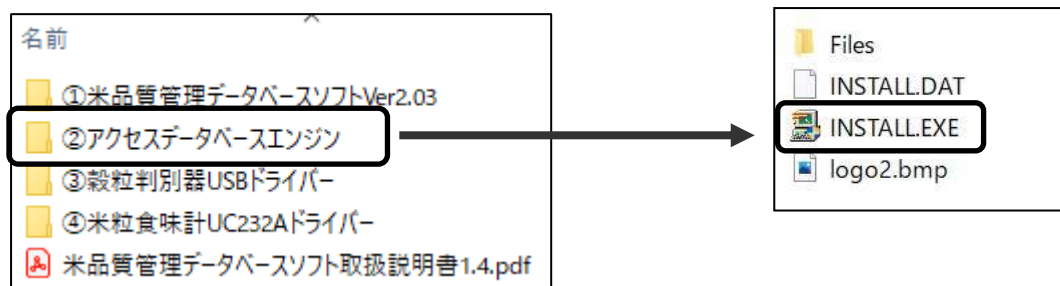
⑦ 『完了(F)』 をクリックします。本ソフトウェアのインストールは完了です。



0-5 アクセスデータベースエンジンのインストール

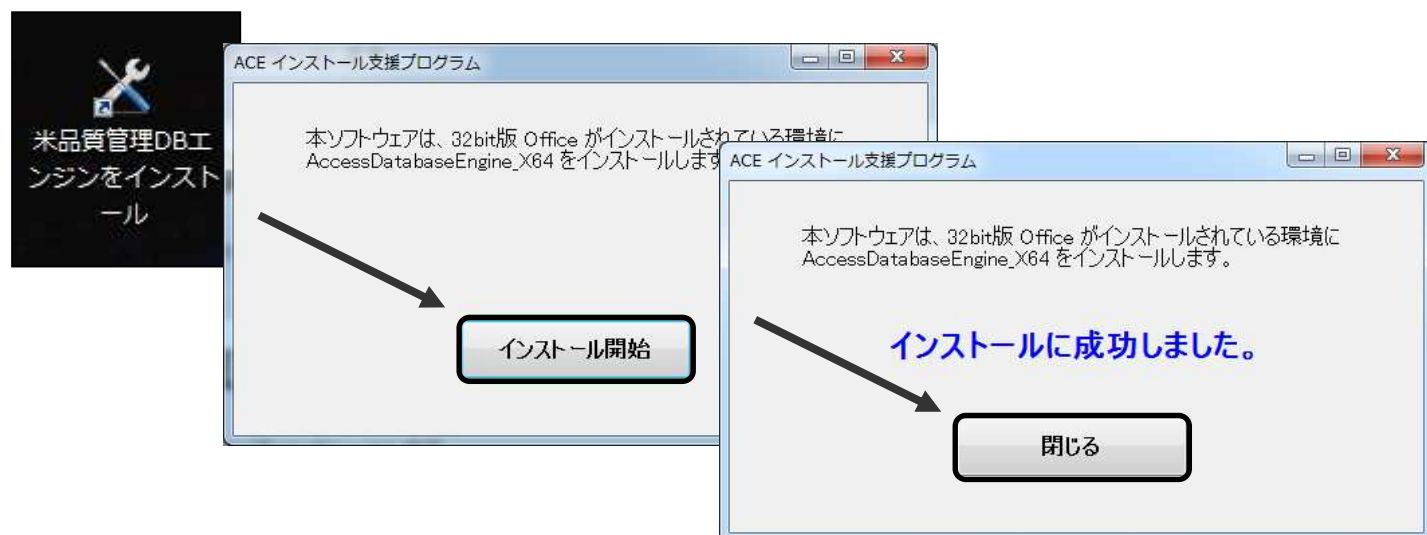
Microsoft Access のデータベースを使用するのに必要なソフトウェアになります。

- ① USB メモリ内の②アクセスデータベースエンジン - INSTALL.EXE をダブルクリックします。

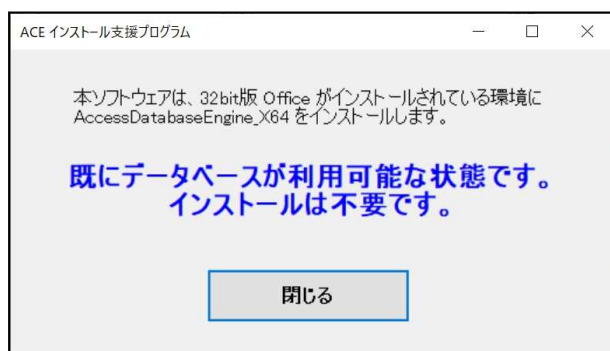


- ② デスクトップに出来たアイコン『米品質管理 DB エンジンインストール』をダブルクリックします。
『インストール開始』をクリックし、インストール完了後、『閉じる』をクリックします。

インストール完了後は『米品質管理 DB エンジンインストール』アイコンを削除しても構いません。



下記の画面が出た場合は、既にインストール済みのため次のステップに進んでください。

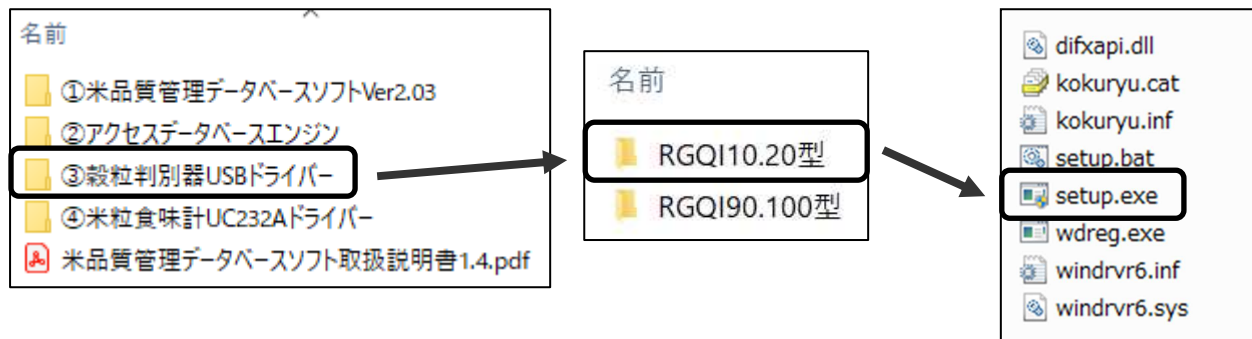


0 - 6 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI10/20 型の場合

※ RGQI10/20 型をご使用のお客様のみ行ってください。

① 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。

② USB メモリ内の **③穀粒判別器 USB ドライバー** – **RGQI10.20 型** – **setup.exe** をダブルクリックします。



③ 『インストール』 をクリックします。



④ 「インストール処理が終了しました。」 のメッセージが出ればインストールは完了です。
『閉じる』 をクリックします。



0-7 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI90 型の場合

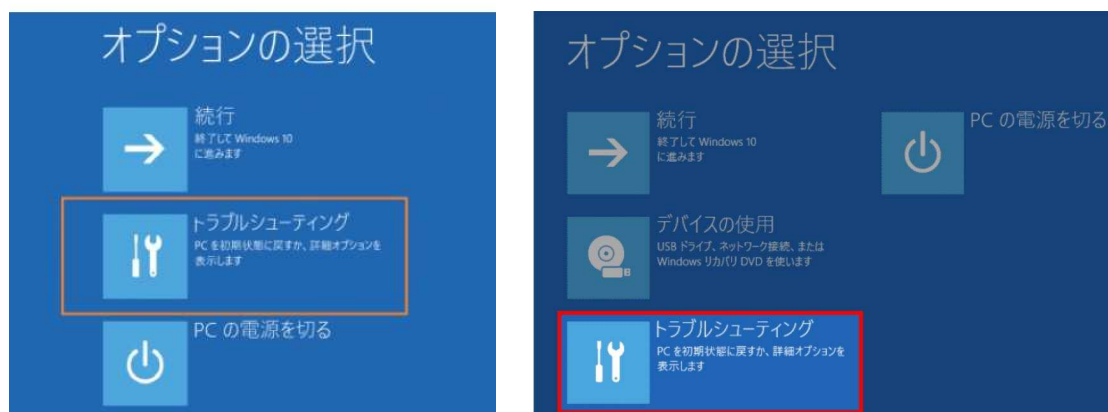
※ RGQI90.100 型をご使用のお客様のみ行ってください。

① 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。

② 『デジタル署名の無効化』を行います。※無効化を行わないとドライバーがインストール出来ません。
下記画面と選択項目が異なり進め方がわからない場合、使用する OS 名と『デジタル署名の無効化』でインターネット検索を行ってください。OS のバージョンにより画面が異なる可能性があります。

A Shift キーを押しながら、Windows の『再起動』をクリックします。

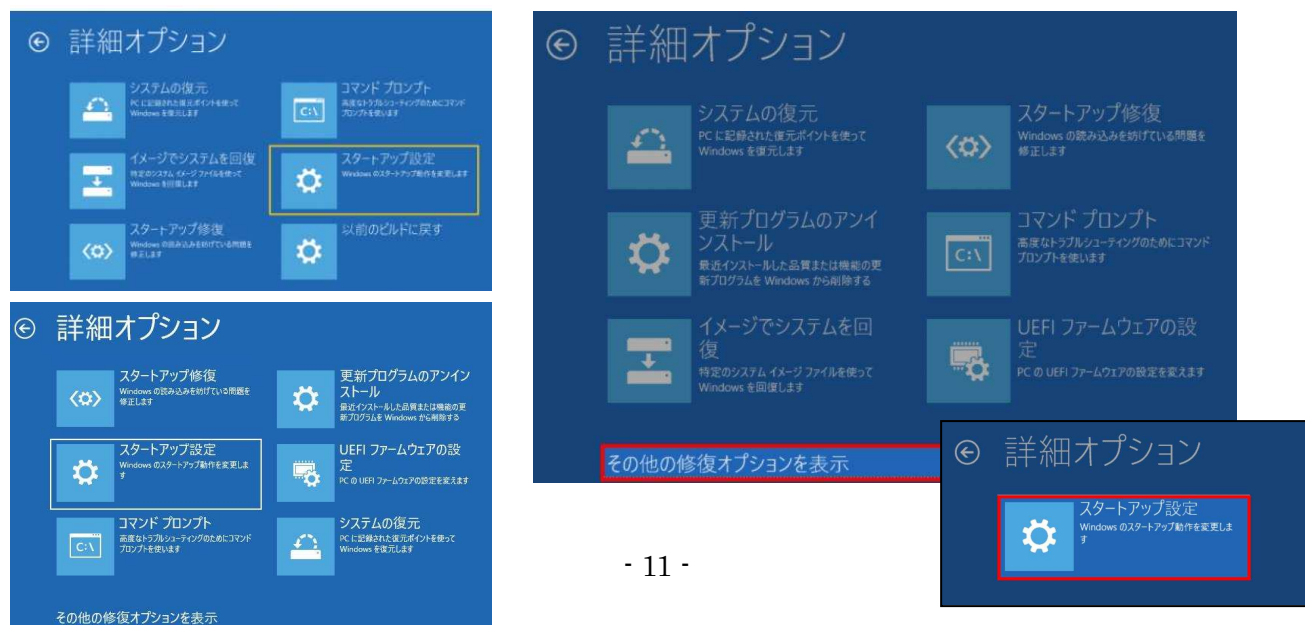
B オプションの選択画面が出るので 『トラブルシューティング』をクリックします。



C 『詳細オプション』をクリックします。



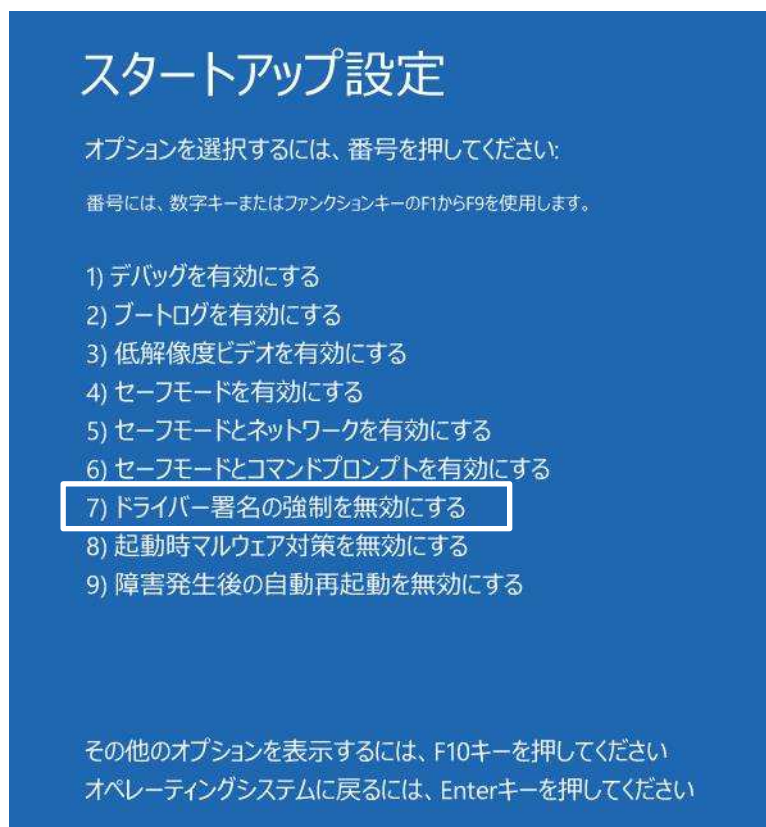
D 『スタートアップ設定』をクリックします。『スタートアップ設定』がない場合、『その他の修復オプションを表示』 - 『スタートアップ設定』をクリックします。



E 『再起動』をクリックします。



F 『7』もしくは『F7』を押します。



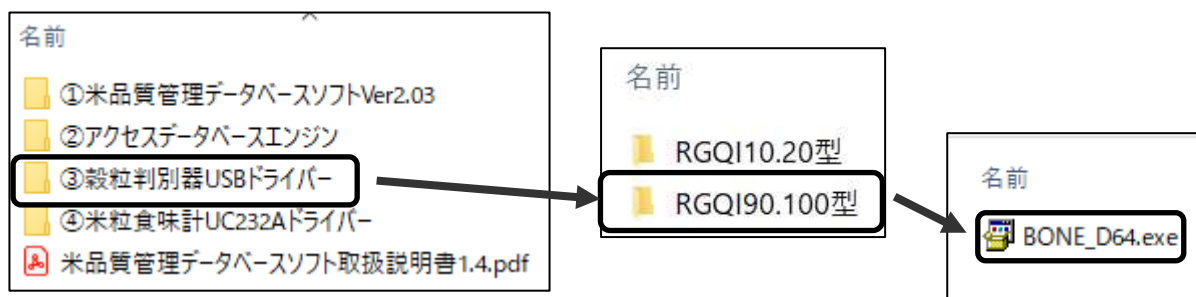
※ スタートアップ設定起動時に 『BitLocker 回復キー』 を要求されることがあります。



『BitLocker 回復キー』 を入力してください。わからない場合は、マイクロソフトアカウントから確認するか、パソコンの管理部門に確認するようにしてください。

③ 穀粒判別器の USB 通信ドライバーをインストールします。

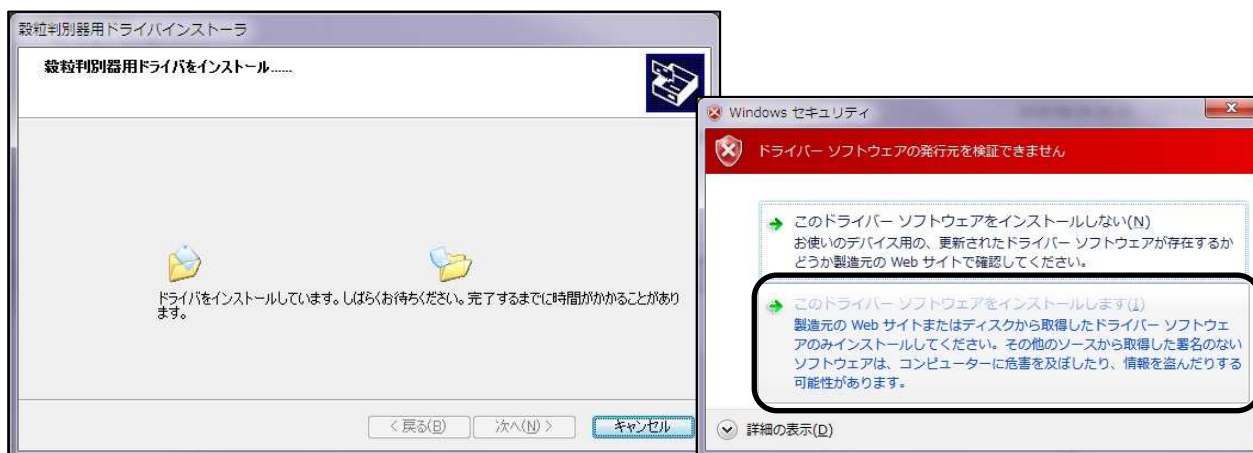
USB メモリ内の ③穀粒判別器 USB ドライバー – RGQI90.100 型 – BONE_D64.exe をダブルクリックして実行します。



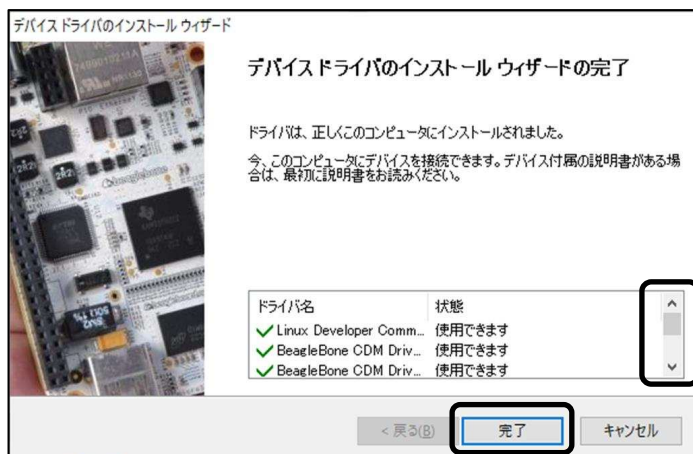
④ 『次へ(N)>』 をクリックします。



- ⑤ ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」が数回出るので、
全て『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックします。



- ⑥ 全ての項目の『状態』が『使用できます』になっていれば完了です。



0 - 8 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定

※ 穀粒判別器をパソコンと USB ケーブルで接続してから行ってください。

① 『コントロールパネル』の『ネットワークとインターネット』の『ネットワーク接続』を開きます。

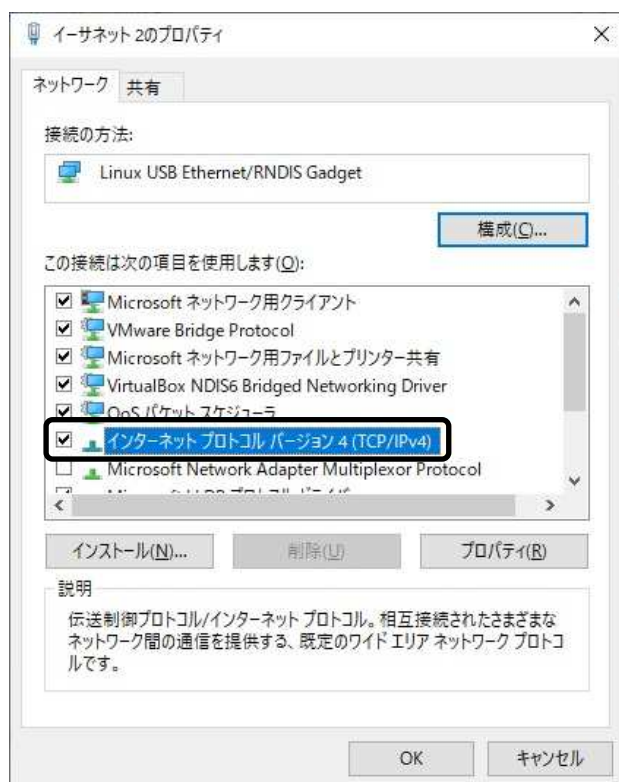


② 『Linux USB Ethernet/RNDIS Gadget』と書かれているネットワークをダブルクリックで開きます。

③ 『プロパティ』をクリックします。



- ④ 『インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)』をダブルクリックで開きます。



- ⑤ 『次の IP アドレスを使う(S)』にチェックを入れます。
『IP アドレス』に『192.168.7.1』と入力します。
『サブネットマスク』に『255.255.255.252』と入力します。
『OK』をクリックで設定は完了です。

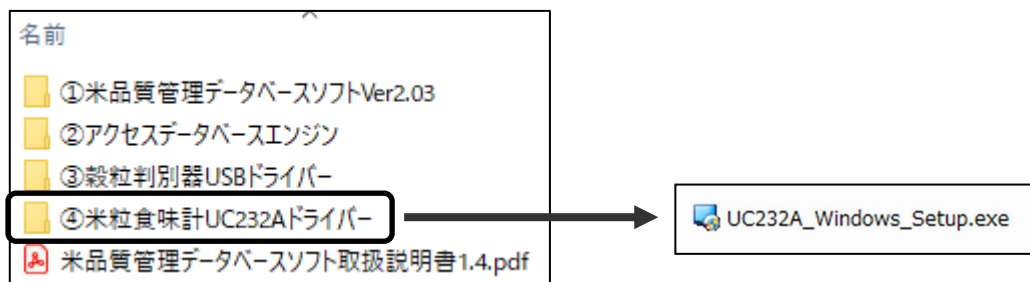


0-9 USB シリアルコンバータードライバーのインストール

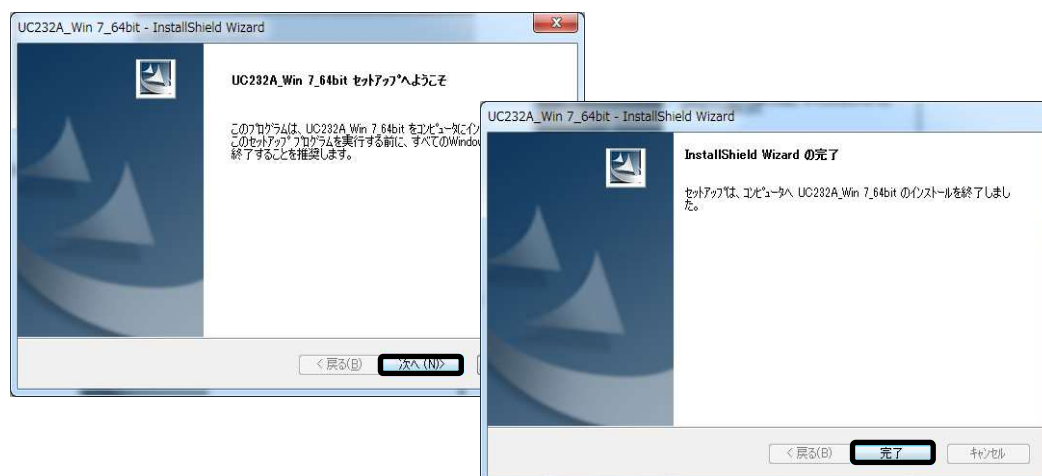
※ 米粒食味計をお使いのお客様のみ行ってください。

ATEN 社製 USB シリアルコンバーターUC-232A の型番をお使いのお客様はインストールしてください。
ATEN 社 HP から最新版をダウンロードすることも可能です。

① USB メモリ内の④米粒食味計 UC232A ドライバー – UC232A_Windows_setup.exe をダブルクリックします。



② 『次へ(N)>』をクリックし、インストールが完了したら『完了』をクリックします。



0 - 10 米品質管理データベースソフト x64 のアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『米品質管理データベースソフト x64』を選択して、アンインストールを行います。



0 - 11 アクセスデータベースエンジンのアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『米品質管理データベースエンジン』を選択して、アンインストールを行います。
- ③ 『Microsoft Access database engine 2010』を選択して、アンインストールを行います。

0 - 12 食味計通信用 USB シリアルコンバータドライバのアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『UC232A_Win○_64bit』を選択してアンインストールを行います。

0 - 13 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのアンインストール

※ RGQI10/20 型をご使用のお客様のみ行ってください。

① P- 10 -『0 - 6 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI10/20 型の場合』の②の手順にてドライバーのインストーラーを起動します。

② 『アンインストール』をクリックします。



③ 「アンインストール処理が終了しました。」のメッセージが出れば完了です。『閉じる』をクリックします。



0 - 14 米品質管理データベースソフト x64 のバージョンアップ方法

最新バージョンに更新を行いたい場合はこちらの手順で行ってください。

① P- 18 -『0 - 10 米品質管理データベースソフト x64 のアンインストール』を参照してアンインストールを行います。

② P- 6 -『0 - 4 米品質管理データベースソフト x64 のインストール』を参照してバージョンアップを行います。

※ バージョンアップ前のデータは、保存先を変更せずにインストールすれば引き継がれます。
(データのデフォルトパス C:¥RQCD01A¥Data)

1) ソフトウェアの起動と画面選択

米品質管理データベースソフト x64（以下「本ソフトウェア」）の起動と画面選択について説明します。
本ソフトウェアを起動するには、付属の USBメモリ をコンピュータに接続しておく必要があります。

1-1 ソフトウェアの起動

1-1-1 ソフトウェアの起動

デスクトップ上にある「米品質管理データベースソフト x64」ショートカットアイコンをダブルクリックするか、スタートメニュー内にある「米品質管理データベースソフト x64」をクリックすると本ソフトウェアが起動します。



1-1-2 メニュー

① 測定画面の表示

「うるち玄米測定」、「うるち精米測定」、「醸造用玄米測定」、「その他測定」をクリックすると、各測定画面が表示されます。

② 設定・保守画面の設定

「設定」、「保守」をクリックすると、本ソフトウェアの設定や、保守に関する画面が表示されます。

③ ソフトウェアの終了

「終了」をクリックすると、本ソフトウェアを終了します。

1-1-3 測定画面の違い

① うるち玄米測定

穀粒判別器及び食味計でのうるち玄米の測定にお使いください。

SATAKE 米品質管理データベースソフトx64

ソフトNo 100000

サンプル詳細 穀粒判別器設定

サンプルNo 1

受付コード

受付日付 2013/10/25

年 度 2013

ロットNo 0

品 位 *****

品 種 *****

自由項目日付 2013/10/25

自由小数点1 0.00

自由小数点2 0.00

自由項目1 0

自由項目2 0

自由項目3 0

自由項目4 0

メモ (50文字までメモを入力できます)

先頭 前 次 最後

穀粒判別器

受付番号 0

測定日付

	重量比	粒数比	粒 数
整 粒	0.0	0.0	0
胴割粒	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0
全粒数			0

食味計

測定No

測定日付

食味値 0 point

タンパク質 0.0 % D/W/A

水分 0.0 %

アミロース 0.0 %

脂肪酸度 0.0 mg/100g

長さ分布 幅分布 厚み分布 白度分布

全粒 長さ分布

平均値 0.00 標準偏差 0.00

うるち玄米

測定レコード作成(F11)

食味計測定(F5)

食味計排出(F6)

穀粒判別器測定(F2)

穀粒判別器排出(F3)

画像表示(F4)

単票印刷

一覧画面

メイン画面

測定方法

測定モード 全粒測定

受信項目 表反射 表透過 胴割率 厚み

② うるち精米

穀粒判別器及び食味計でのうるち精米の測定にお使いください。

SATAKE 米品質管理データベースソフトx64

ソフトNo 100000

サンプル詳細 穀粒判別器設定

サンプルNo 1

受付コード

受付日付 2013/10/25

年 度 2013

ロットNo 0

品 位 *****

品 種 *****

自由項目日付 2013/10/25

自由小数点1 0.00

自由小数点2 0.00

自由項目1 0

自由項目2 0

自由項目3 0

自由項目4 0

メモ (50文字までメモを入力できます)

先頭 前 次 最後

穀粒判別器

受付番号

測定日付

	重量比	粒数比	粒 数
完全粒	0.0	0.0	0
砕 粒	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0
全粒数			0

食味計

測定No

測定日付

食味値 0 point

タンパク質 0.0 % D/W/A

水分 0.0 %

アミロース 0.0 %

長さ分布 幅分布 厚み分布 白度分布

完全粒 長さ分布

平均値 0.00 標準偏差 0.00

うるち精米

測定レコード作成(F11)

食味計測定(F5)

食味計排出(F6)

穀粒判別器測定(F2)

穀粒判別器排出(F3)

画像表示(F4)

単票印刷

一覧画面

メイン画面

測定方法

測定モード 全粒測定

受信項目 表反射 表透過 胴割率 厚み

③ 醸造用玄米

穀粒判別器での醸造用玄米の測定にお使いください。

ソフトウェア: SATAKE 米品質管理データベースソフトx64

ソフトNo: 100000

サンプル詳細

穀粒判別器設定

サンプルNo: 1

受付コード: 2013/10/25

年産: 2013

ロットNo: 0

品位: *****

品種: *****

自由項目日付: 2013/10/25

自由小数点1: 0.00

自由小数点2: 0.00

自由項目1: 0

自由項目2: 0

自由項目3: 0

自由項目4: 0

メモ: (60文字までメモを入力できます)

先頭 前 次 最後

大分類: 穀粒判別器

中分類: 食味計

小分類: 測定No: 測定日付:

	重量比	粒数比	粒数
整粒	0.0	0.0	0
心白	0.0	0.0	0
無心白	0.0	0.0	0
★心白率			
胴割粒	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0
全粒数			0

長さ分布 幅分布 厚み分布 白度分布

全粒 長さ分布

平均値: 0.00 標準偏差: 0.00

測定方法

測定モード: 全粒測定

受信項目: 表反射, 表透過, 胴割率, 厚み

測定記録作成 (F11)

食味計測定 (F5)

食味計排出 (F6)

穀粒判別器測定 (F2)

穀粒判別器排出 (F3)

画像表示 (F4)

単票印刷

一覧画面

メイン画面

注意) 食味計が醸造用玄米に対応した場合、設定にて、食味計測定結果の表示項目を、非表示から表示に変更することが可能です。

④ その他測定

食味計での小麦等の測定にお使いください。

ソフトウェア: SATAKE 米品質管理データベースソフトx64

ソフトNo: 100000

サンプル詳細

穀粒判別器設定

サンプルNo: 1

受付コード: 2013/10/25

年産: 2013

ロットNo: 0

品位: *****

品種: *****

自由項目日付: 2013/10/25

自由小数点1: 0.00

自由小数点2: 0.00

自由項目1: 0

自由項目2: 0

自由項目3: 0

自由項目4: 0

メモ: (60文字までメモを入力できます)

先頭 前 次 最後

共通

食味計

測定No: 測定日付:

食味値: 0 point

タンパク質: 0.0 %

水分: 0.0 %

アミロース: 0.0 %

脂肪酸度: 0.0 mg/100g

D/W/A

測定記録作成 (F11)

食味計測定 (F5)

食味計排出 (F6)

単票印刷

一覧画面

メイン画面

測定方法

測定モード: 全粒測定

受信項目: 表反射, 表透過, 胴割率, 厚み

その他測定は穀粒判別器非対応

表示名称及び表示項目は設定にて変更可能です。

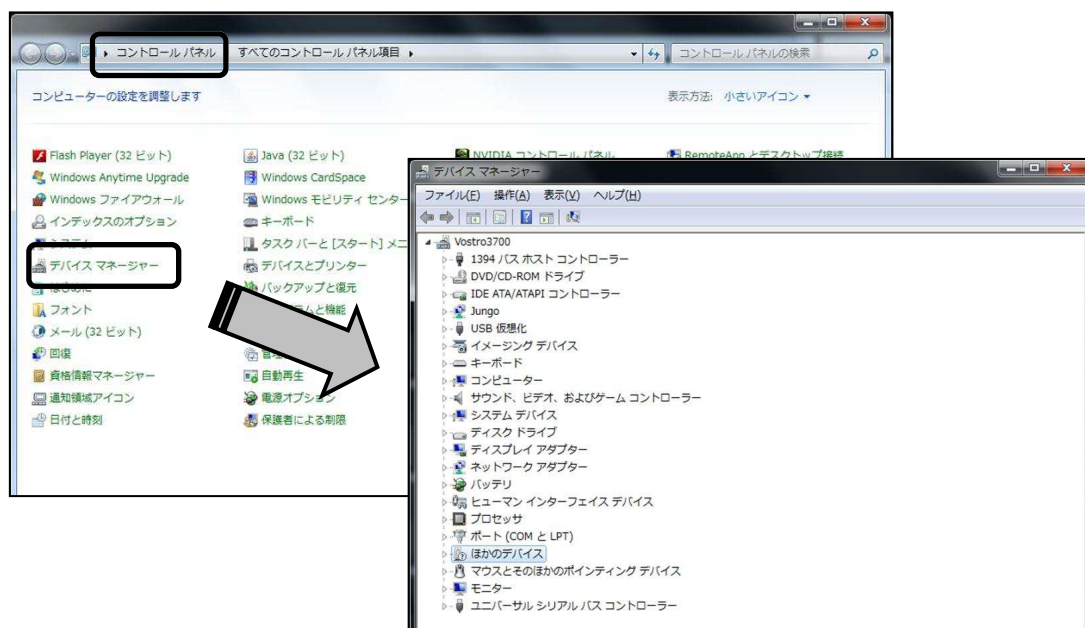
2) 運転前の設定

ソフトウェアインストール後に行う穀粒判別器及び食味計の通信設定について説明します。

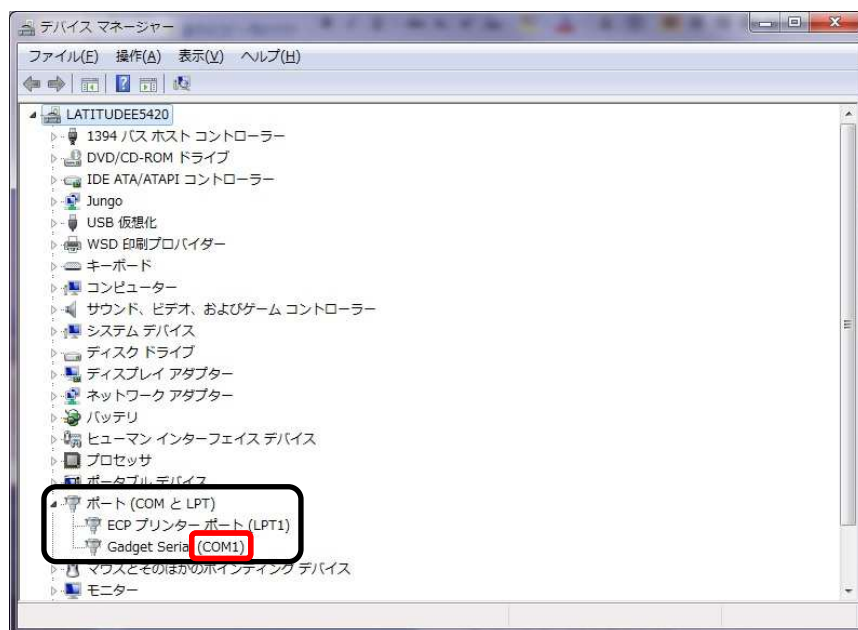
2-1 穀粒判別器シリアル通信設定 RGQI90 型

※ RGQI90 型をご使用のお客様のみ行ってください。

- ① 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- ② パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。



- ③ 「ポート(COM と LPT)」の「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」の COM ポート番号を調べます。下記の例では COM1 となっているので 1 番となります。「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」が表示されない場合は P-11-『0-7 穀粒判別器 USB 通信ドライバー – RGQI90 型の場合』の手順を再度行ってください。



- ④ 本ソフトウェアを起動します。
- ⑤ 起動画面の「設定」をクリックし、設定画面を表示します。



- ⑥ 設定画面の「通信設定」をクリックします。
- ⑦ 穀粒判別器との通信方法の「RS232C ポート番号」に調べた番号を入力し「確定」をクリックします。



2 - 2 穀粒判別器本体の通信設定変更 RGQI90 型

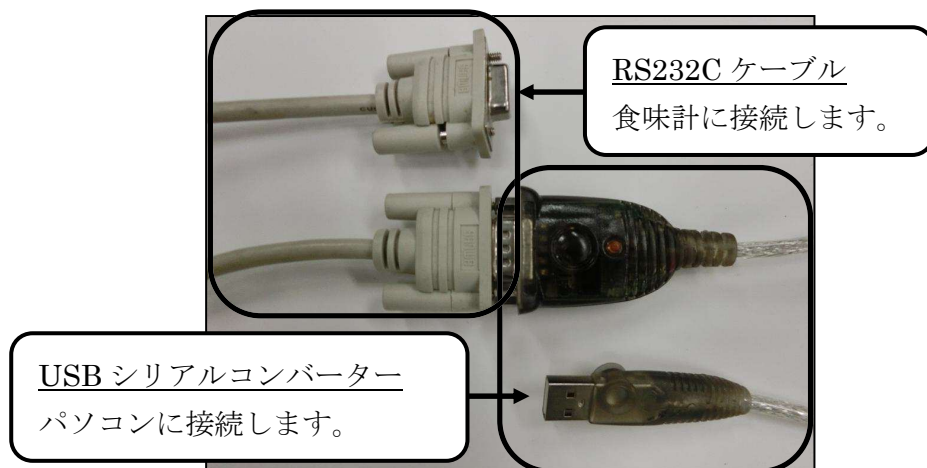
穀粒判別器本体の メニュー - 保守 - シリアル通信設定 にて下記の通り設定します。



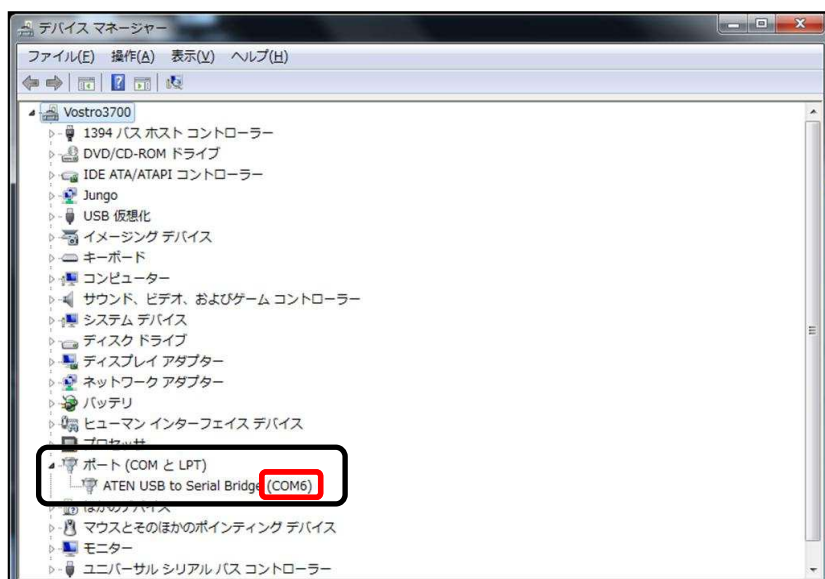
※ 通信が出来ない場合、USB ケーブルを抜いて穀粒判別器を再起動してください。

2-3 食味計シリアル通信設定

- ① 写真のように RS232C ケーブル(別売り)と USB シリアルコンバーター(別売り)を接続します。
- ② USB シリアルコンバーターの USB 側をパソコンに接続し、RS232C ケーブル側を食味計に接続します。



- ③ パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。
- ④ 「ポート (COM と LPT)」の COM ポート番号を調べます。
下記の例では COM6 となっているので 6 番となります。



- ⑤ 本ソフトウェアを起動します。

⑥ 起動画面の「設定」をクリックし、設定画面を表示します。



⑦ 設定画面の「通信設定」をクリックします。

⑧ 食味計との通信方法の「RS232C ポート番号」に先ほど調べた番号を入力し「確定」をクリックします。



注意）パソコン側の USB の挿し口 (ポート) を変更した場合は、COM ポートの番号が変更される可能性があります。

2 - 4 食味計本体の通信設定変更

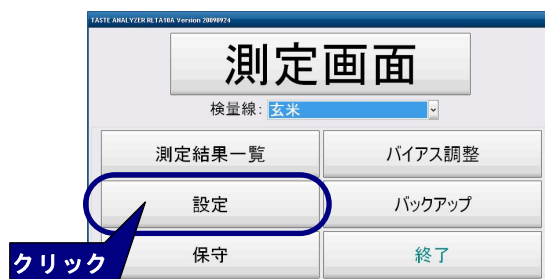
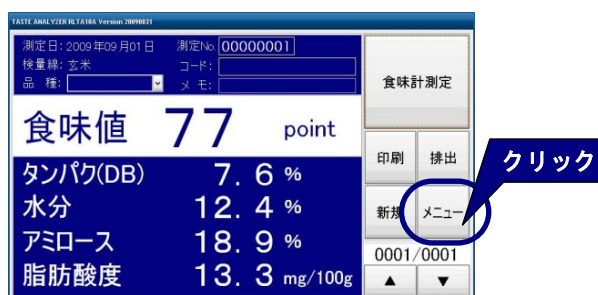
食味計の通信条件を設定します。

※ 通信条件設定が異なると、正常な通信ができません。

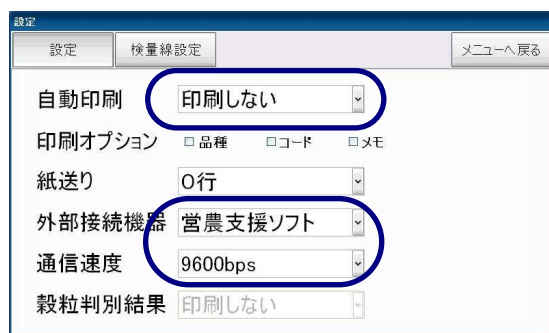
① RLTA10 型 - 食味計本体の設定

i) 設定

【メニュー】 ⇒ 【設定】を選択します。



ii) 通信設定



【自動印刷】⇒【印刷しない】（推奨）を選択します。

【外部接続機器】⇒【営農支援ソフト】を選択します。

【通信速度】⇒【9600bps】を選択します。

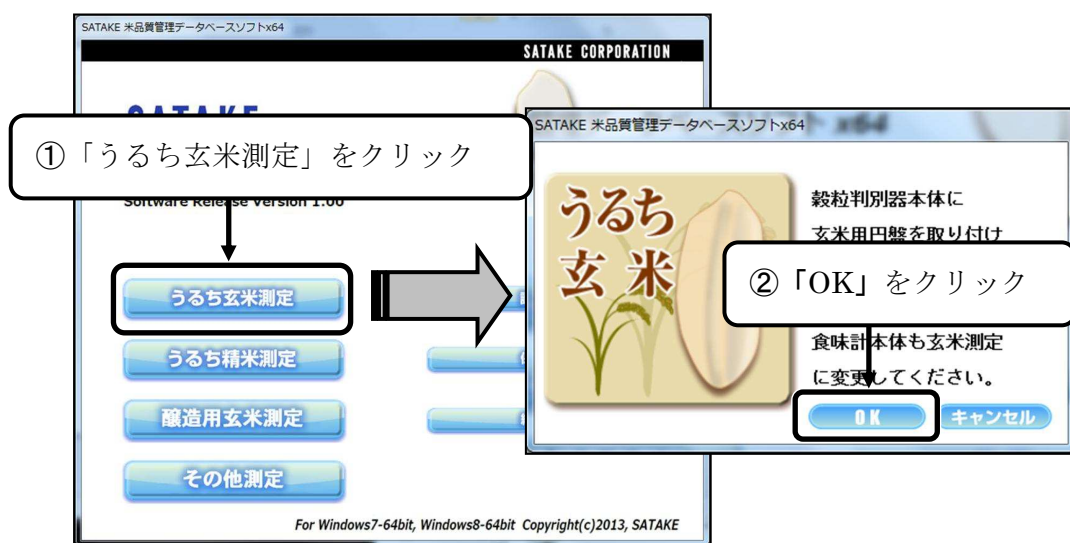
3) 測定画面の操作

うるち玄米、うるち精米、醸造用玄米、その他測定共に基本的な操作は同じです。
以後の基本的な説明は「うるち玄米測定」にて行います。

3-1 サンプル測定の流れ

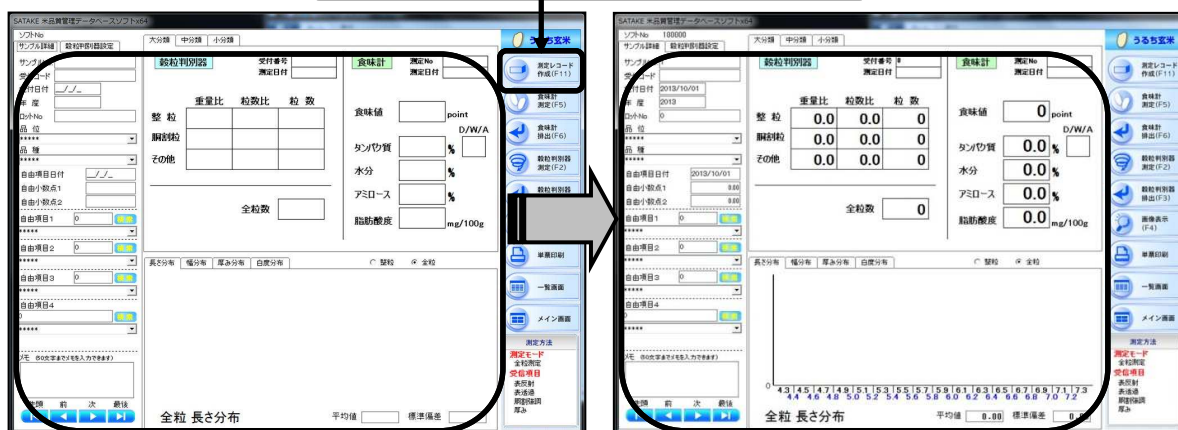
サンプル測定の基本的な操作の流れを説明します。

- ① 起動画面の「うるち玄米測定」をクリックします。
- ② 穀粒判別器本体のモードと対応した円盤かを確認し、また食味計本体のモードを確認し「OK」をクリックします。



- ③ 「測定レコード作成」をクリックし、空の保存領域（測定レコード）をデータベースに作成します。

③ 「測定レコード作成」 をクリック



注意 1) インストール直後は「測定レコード作成」をクリックしないと測定出来ません。
注意 2) 新規の測定レコードを作成していない場合は、上書き測定となります。

- ④ サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することでデータの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。

④ ここにサンプルの詳細な情報を入力します。

- ⑤ 穀粒判別器と食味計の両方を測定する場合、「食味計測定」をクリックし、食味計を測定開始します。次に「穀粒判別器測定」をクリックし、穀粒判別器を測定開始します。
(1 機種の場合は対応する測定ボタンをクリックして測定開始してください。)

**注意) 必ず i)「食味計測定」→ ii)「穀粒判別器測定」の順番で測定を開始してください。
ii)を先にクリックした場合、i)はクリック出来なくなります。**

i) 「食味計測定」をクリック

ii) 「穀粒判別器測定」をクリック

【ポイント】 キーボードの F5 及び F2 を押した場合も、画面上のボタンをクリックした場合と同様に、測定開始とキャンセル操作が行えます。

⑥ 測定データを受信すると、画面に測定結果が表示されます。

保存画像の種類を表示します。

穀粒判別器の分類を切替えることが出来ます。

表示するグラフを切替えることが出来ます。

穀粒判別器及び食味計の測定結果が表示されます。

「整粒」もしくは「全粒」の分布グラフに切替えることが出来ます。

穀粒判別器で測定した【長さ】・【幅】・【厚み】・【白度】分布グラフが表示されます。

The screenshot shows the 'SATAKE 米品質管理データベースソフトv64' interface. It includes a sidebar with various function buttons like '測定コード作成(F11)', '食味計測定(F5)', and '穀粒判別器測定(F2)'. The main area displays measurement data for 'うるち玄米' (Uchibukari), including weight ratio, grain ratio, and grain count for '整粒' (Whole grain) and '副産粒' (By-product grain). It also shows a '食味計' (Taste meter) reading of 79 points. At the bottom, there are histograms for '全粒 長さ分布' (Whole grain length distribution) and '全粒 幅分布' (Whole grain width distribution).

⑦ 履歴ボタンをクリックすると、保存した測定結果を順次表示することが出来ます。

⑦ 履歴ボタンをクリック

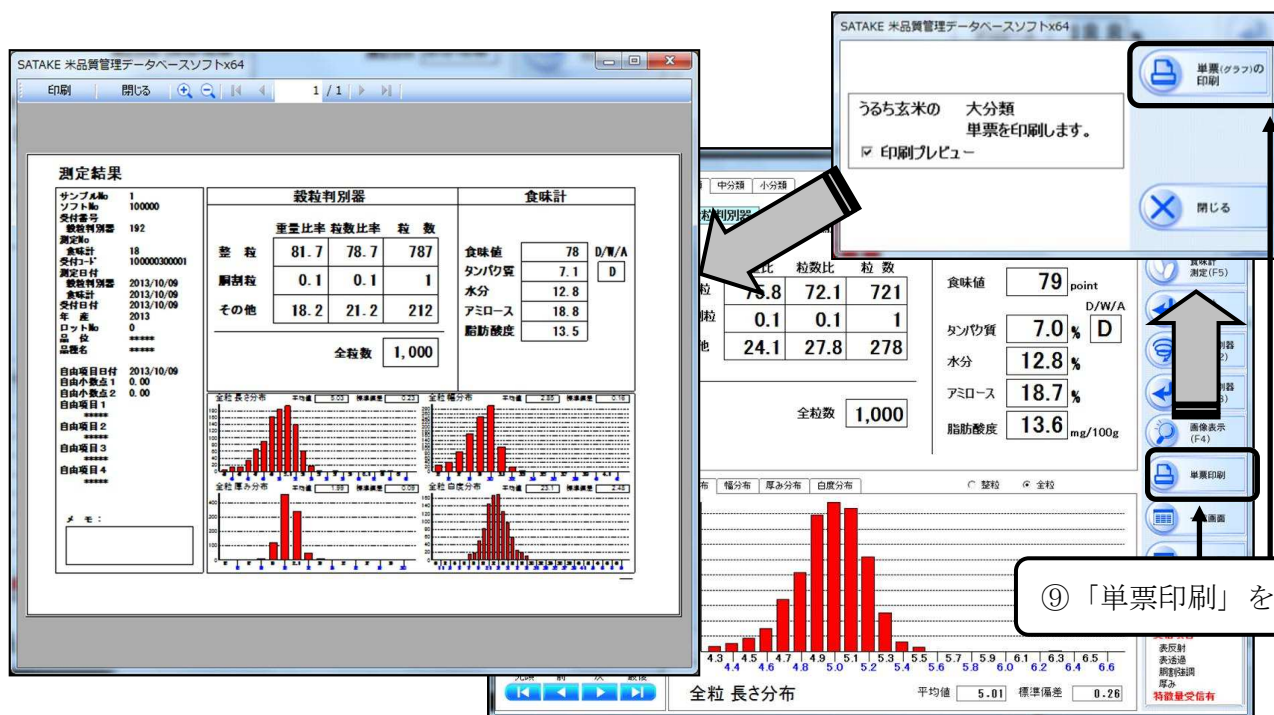
The screenshot shows the same software interface as before, but with a callout pointing to the '履歴' (History) button in the sidebar. The button is labeled '履歴表示 (F4)'. Below the callout, there is a small diagram showing a sequence of buttons: '先頭' (First), '前' (Previous), '次' (Next), and '最後' (Last), with arrows indicating the flow between them.

先頭	最初に保存した測定結果を表示します。
前	表示測定結果の前の結果を表示します。
次	表示測定結果の次の結果を表示します。
最後	最後に保存した測定結果を表示します。

⑧ 「画像表示」 をクリックすると、保存した画像が表示されます。



⑨ 「単票印刷」 をクリックすると、測定結果の単票印刷画面が表示され、印刷することが出来ます。



⑩ 「一覧画面」 を押すと、測定結果の一覧表示をするための絞り込みの画面に移動します。

⑪ 「メイン画面」 をクリックすると、起動画面に移動します。

3-2 サンプル詳細欄

3-2-1 サンプル詳細欄の表示

サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することで、データの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。

「サンプル詳細」タブをクリックして、サンプル詳細欄を表示させます。

The screenshot shows the 'Sample Details' tab selected in the software. The main area contains various input fields for sample information, including 'Sample No.', 'Receiving Code', 'Receiving Date', 'Year', 'Lot No.', 'Grade', and 'Variety'. There are also fields for 'Free Item Date', 'Free Decimal 1', 'Free Decimal 2', and 'Free Item 1' through 'Free Item 4'. A histogram at the bottom displays the distribution of 'Longitudinal Length' (全粒長分布) with a peak around 5.0. Summary statistics like 'Average' (平均値) and 'Standard Deviation' (標準偏差) are shown at the bottom right.

3-2-2 サンプル詳細欄の設定

① サンプル詳細欄へ入力出来る項目は以下となります。

The diagram illustrates the 'Sample Details' form with the following callouts:

- i) サンプル No (Sample No.)
- ii) 受付コード (Receiving Code)
- iii) 受付日付 (Receiving Date)
- iv) 年産 (Year)
- v) ロット No (Lot No.)
- vi) 品位 (Grade)
- vii) 品種 (Variety)
- viii) 自由項目日付 (Free Item Date)
- ix) 自由小数点 1～ (Free Decimal 1~)
- x) 自由項目 1～4 (Free Item 1~4)
- xi) メモ (Memo)

② サンプル詳細欄の内容を説明します。

i) サンプル No 【データ入力不可】

測定レコード作成時に、自動的に番号が割り振られます。

重複しない番号が割り振られます。削除したデータの番号は欠番となります。

ii) 受付コード【12 桁の数値入力が可能】

穀粒判別器本体の受付コードを保存し、表示します。手入力も可能です。

注意) 穀粒判別器から受付コードを受信する場合は測定画面の「穀粒判別器設定」タブの通信設定「受付コードを受信する」にチェックを入れる必要があります。

iii) 受付日付 【年月日データの入力が可能】

測定サンプルの受付日付、または測定データ受信日付を入力します。

※最新レコードの受付日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

iv) 年産 【4 桁の数値入力が可能】

測定サンプルの生産年度を入力します。

※最新レコードの年産の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

v) ロット No【9 桁の数値入力が可能】

測定サンプルのロット No を入力します。

※最新レコードのロット No の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

vi) 品位 【マスター設定により 5 文字のテキストの入力が可能】

測定サンプルの品位を選択します。

※最新レコードの品位の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

vii) 品種 【マスター設定により 10 文字のテキストの入力が可能】

測定サンプルの品種名を選択します。

※最新レコードの品種の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

viii) 自由項目日付 【年月日データの入力が可能】

ユーザーが自由な項目で日付を設定出来ます。

※最新レコードの自由項目日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

ix) 自由小数点 1～2 【整数部分 4 桁、小数部分 2 桁の数値入力が可能】

ユーザーが自由な項目で数値を設定出来ます。

※最新レコードの自由小数点の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。

x) 自由項目 1～4 【マスター設定により自由項目 1～3 は 10 文字、自由項目 4 は 20 文字のテキストの入力が可能】

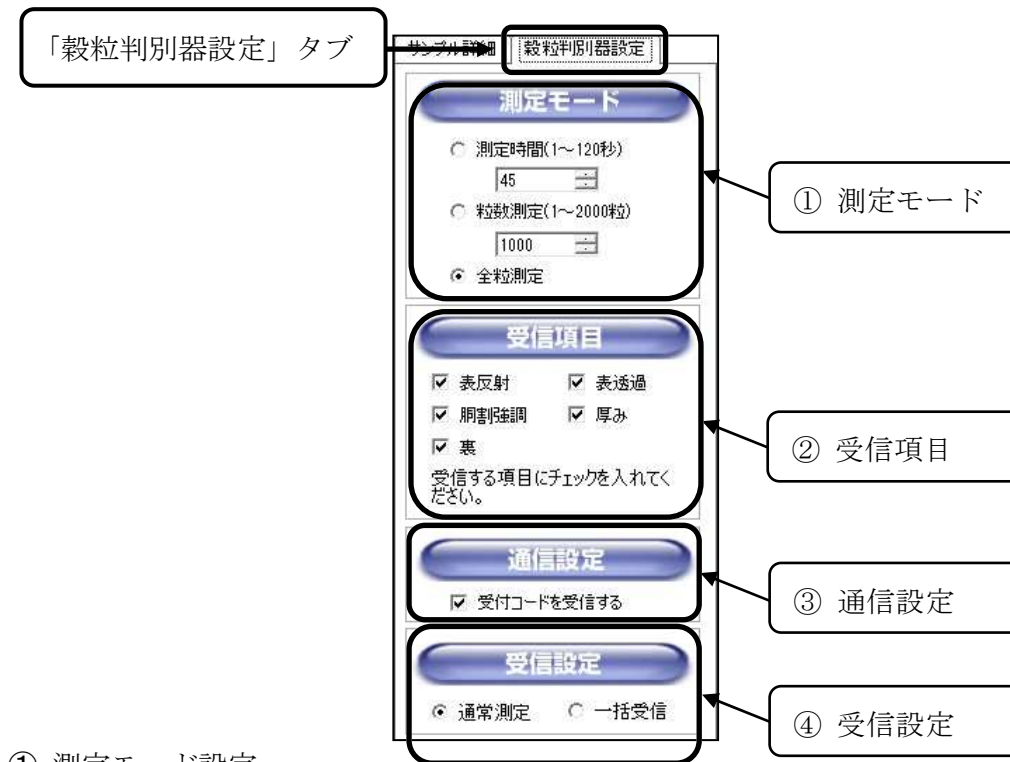
入力する項目をユーザーが自由に設定出来ます。

x i) メモ 【50 文字のテキストの入力が可能】

ユーザーが自由にテキストを入力出来ます。

3 - 2 - 3 穀粒判別器に関する測定方法の設定

「穀粒判別器設定」タブをクリックして、サンプルの測定方法を設定します。



① 測定モード設定

i) 測定モードの設定変更

穀粒判別器本体のサンプル測定方法に関する設定を変更します。

- ・測定時間設定 : 設定時間で測定を終了し、結果を表示します。
- ・粒数測定設定 : 設定粒数で測定を終了し、結果を表示します。
- ・全粒測定設定 : 全粒 (最大 2000 粒) を測定し、結果を表示します。

※ 設定を変更して、測定を開始することで、穀粒判別器本体の設定も変更されます。

② 受信項目設定

穀粒判別器本体より受信する画像の種類を選択出来ます。

i) 設定項目

本ソフトウェアで保存、表示出来る画像は、【表反射】・【胴割強調】・【表透過】・【厚み】・【裏】の 5 画像となります。 ※ 裏画像は RGQI90 型のみ受信可能です。

ア) 表反射画像

サンプルを上側から撮像した反射画像です。

イ) 胴割強調画像

サンプルの胴割部分を強調した透過画像です。

ウ) 表透過画像

サンプルを上側から撮像した透過画像です。

エ) 厚み画像

サンプルを横面（厚み）から撮像した反射画像です。

オ) 裏画像

サンプルを裏側から撮像した反射画像です。

注意） 画像データは非常にデータ容量が大きい為、ハードディスク容量等を考慮し、必要な画像データのみ受信することをお勧めします。

ii) 受信設定

画像受信は、各項目のチェックボックスをクリックしてチェックを入れることで選択出来ます。

③ 通信設定

穀粒判別器本体より受付コードを受信する場合「受付コードを受信する」にチェックを入れてください。

④ 受信設定

測定データの受信方法を「通常測定」・「一括受信」の2つのモードより選択することが出来ます。使用したいモードをクリックします。

i) 通常測定

本ソフトウェアより、穀粒判別器本体へ測定命令を送信して、測定データを受信するモードです。

ii) 一括受信

穀粒判別器本体内部に保存された測定データを、本ソフトウェア内へ一度に受信、保存します。現場などで取りためたデータを持ち帰って、一括で受信する場合に使います。

注意 1) 本ソフトウェアへ既に保存されているデータは受信されません。

注意 2) うるち玄米・うるち精米・醸造用玄米それぞれの一括受信機能を使用してください。種類の異なるデータは受信しません。

注意 3) 一括受信により取得した測定データでは、画像表示機能、粒選シミュレータ機能をご利用になれません。

※RGQI90 型の場合、一括受信でも本機画像保存していれば画像受信します。

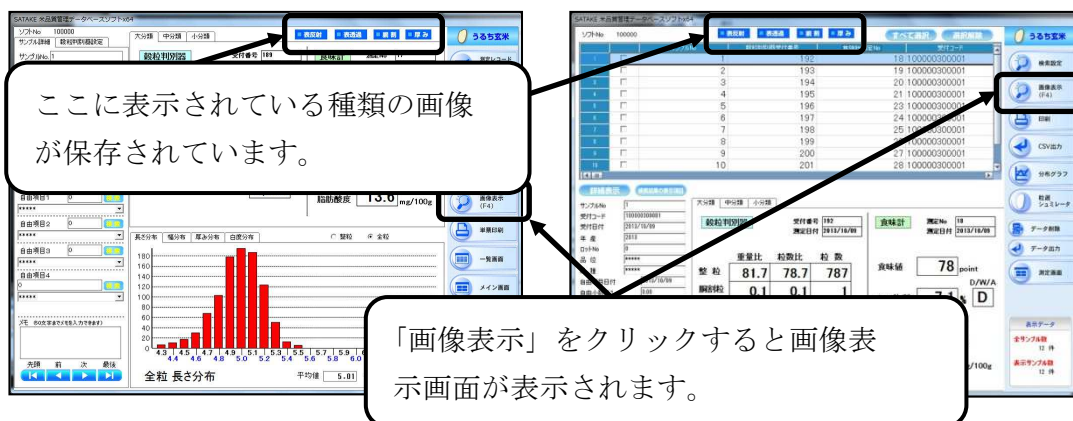
3-3 受信画像の表示

穀粒判別器から取得した米画像を表示することが出来ます。

- 注意 1) 画像を表示するには、画像データを受信する必要があります。
- 注意 2) 受信画像の選択については、受信項目の設定を確認してください。
- 注意 3) 一括受信を使用した場合、画像表示は出来ません。

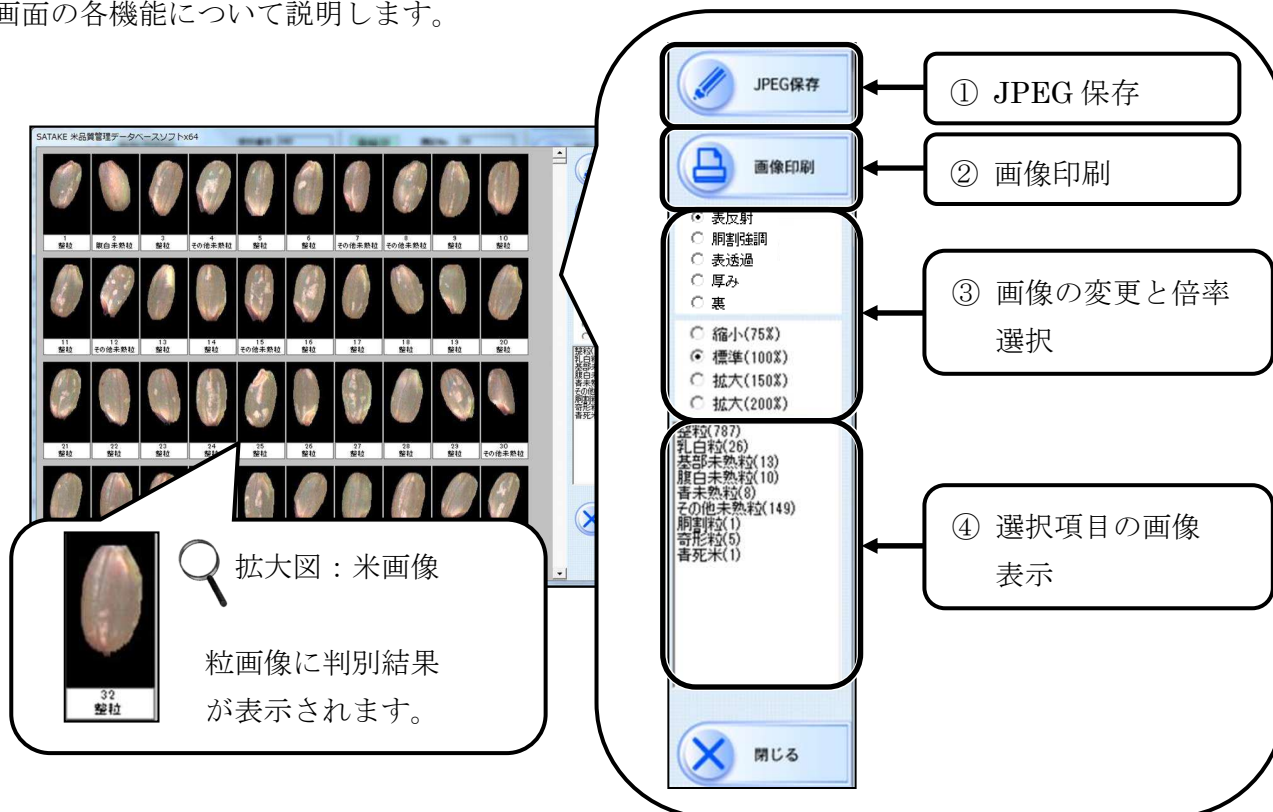
3-3-1 受信画像の表示

「画像表示」をクリックして、画像表示画面を表示させます。



3-3-2 画像画面の機能

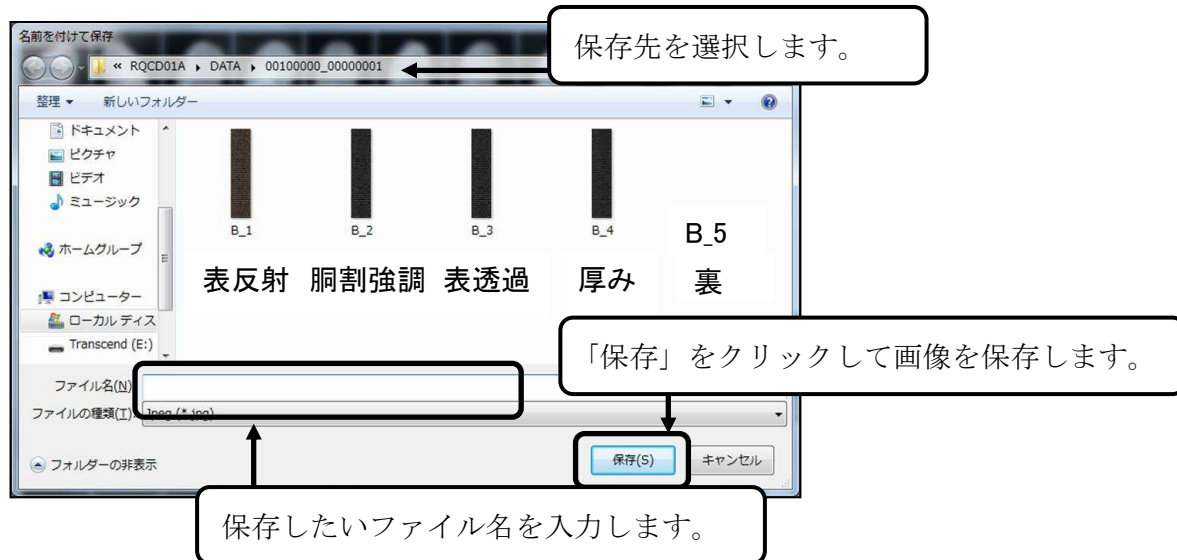
画像画面の各機能について説明します。



① JPEG 保存

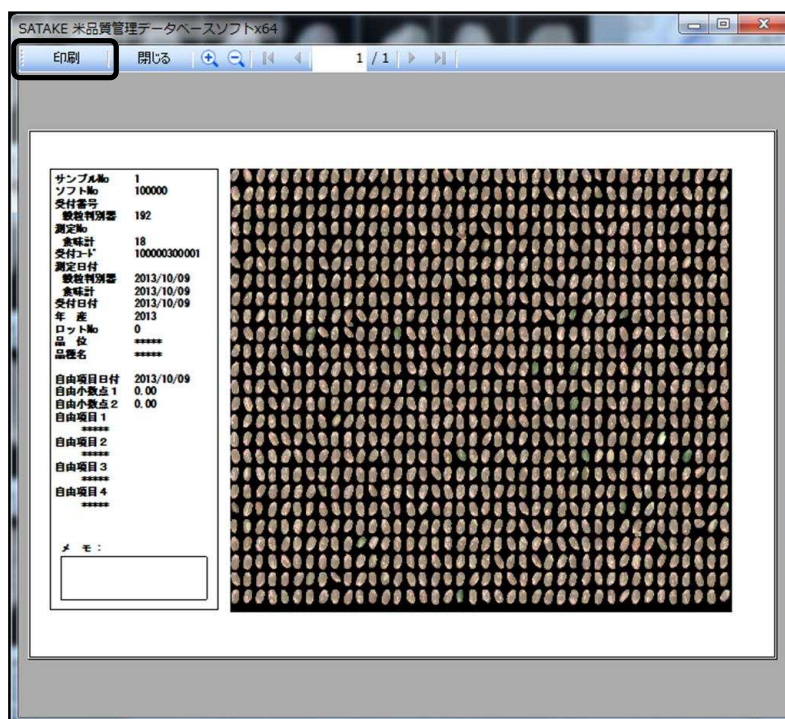
表示中のサンプル画像を、JPEG ファイル（画像ファイル）として出力出来ます。

- i) 「JPEG 保存」をクリックします。
- ii) 保存先の選択画面が表示されるので、保存先とファイル名を決定して、「保存」を選択します。
裏画像は RGQI90 型のみ出力することが可能です。



② 画像印刷

- i) 「画像印刷」をクリックすると、全粒画像の印刷プレビューが表示されます。
「印刷」をクリックするとお手持ちの A4 プリンターで印刷することが可能です。



③ 画像の変更と倍率選択

i) 画像の種類変更

表示する画像の種類を選択します。表示する画像のチェックボックスへチェックを入れてください。

<input checked="" type="radio"/>	表反射
<input type="radio"/>	胴害強調
<input type="radio"/>	表透過
<input type="radio"/>	厚み
<input type="radio"/>	裏

ii) 画像の表示倍率変更

表示する画像の倍率を変更出来ます。表示させる倍率のチェック欄へチェックを入れてください。

<input type="radio"/>	縮小(75%)
<input checked="" type="radio"/>	標準(100%)
<input type="radio"/>	拡大(150%)
<input type="radio"/>	拡大(200%)

④ 選択項目の画像表示

選択された分類の画像のみ画面内に表示されます。全ての選択を解除すると全粒画像が表示されます。

【ポイント】 選択項目の画像表示機能と合わせて使用すると、必要な画像のみ
JPEG ファイルに変換することができます。

3 - 4 印刷(単票印刷)

測定結果を印刷します。

【ポイント】 穀粒判別器の測定分類は、測定画面で表示中の分類が印刷されます。
複数の単票を印刷する場合は、一覧画面の印刷機能をご利用ください

3 - 4 - 1 単票印刷設定の表示

「単票印刷」 をクリックして、印刷設定画面を表示させます。

「単票印刷」をクリックします。

① 単票(グラフ)の印刷

② 印刷プレビュー

3-4-2 単票印刷の機能

単票印刷の各機能について説明します。

① 単票（グラフ）の印刷

i) 印刷

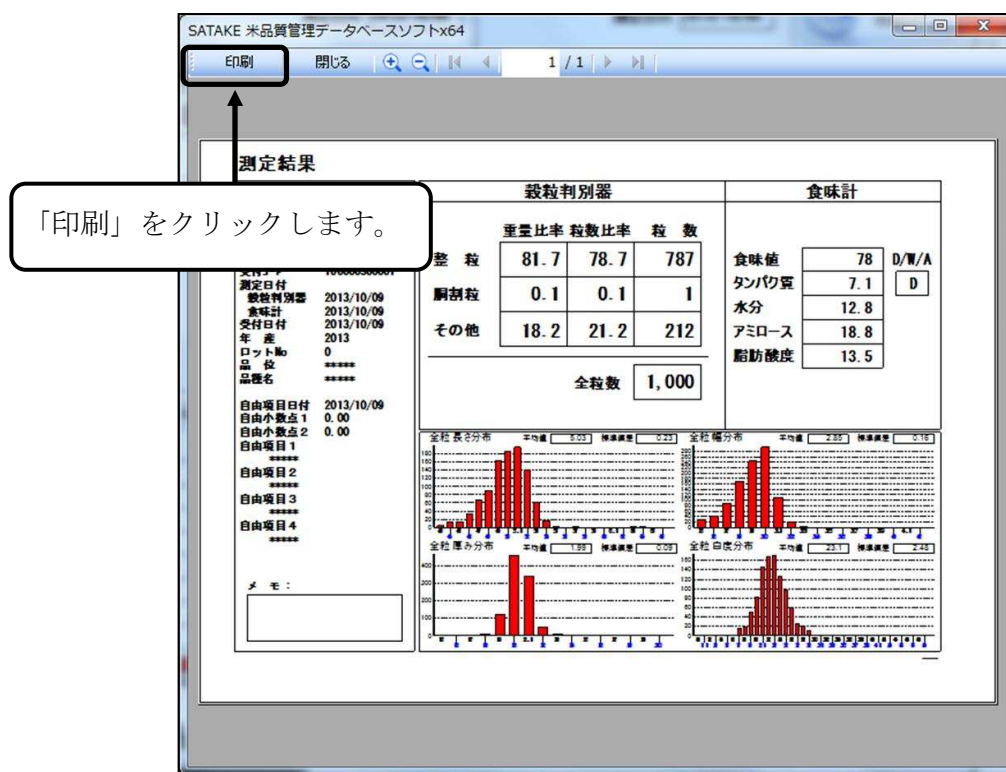
「単票（グラフ）の印刷」をクリックします。

ii) 印刷内容

サンプル詳細欄、測定分類（大、中、小分類）、その他（長さ、幅、厚み、白度）

② 印刷プレビュー

単票（グラフ）の印刷プレビューを表示します。プレビューを表示させない場合は、「印刷プレビュー」のチェックボックスのチェックを外してください。



i) 印刷開始と終了

ア) 印刷開始

「印刷」をクリックすると、プリンターの選択が表示されます。使用するプリンターを選択して印刷を開始してください。

イ) 閉じる

「閉じる」をクリックすると、印刷プレビューを終了します。

4) 一覧画面の操作

4-1 一覧画面の機能

4-1-1 一覧画面

測定結果を一覧で表示します。

測定画面の「一覧画面」→ 絞り込み「検索開始」→ 一覧画面 が表示されます。

注意） 一覧画面に表示される測定データは、検索の条件にて絞り込まれたデータとなります。
全ての測定データを表示していない場合があります。
絞り込みの設定をしていない場合は全件数一覧画面に表示されます。

一覧画面をクリック

検索開始をクリック

サンプルNo	穀粒判別器受付番号	食味計測定No	受付コード
1	192	18	100000300001
2	193	19	100000300001
3	194	20	100000300001
4	195	21	100000300001
5	196	23	100000300001
6	197	24	100000300001
7	198	25	100000300001
8	199	26	100000300001
9	200	27	100000300001
10	201	28	100000300001

全粒 長さ分布

平均値 5.03 標準偏差 0.23

全粒数 1,000

食味値 78 point

タンパク質 7.1 %

水分 12.8 %

アミロース 18.8 %

脂肪酸度 13.5 mg/100g

4-1-2 測定データの一覧表示

検索された測定データが一覧に表示されます。

測定データの項目名称を表示します。

		サンプルNo	穀粒判定器受付番号	食味計測定No	受付コード
1	<input type="checkbox"/>	1	192	18	100000300001
2	<input type="checkbox"/>	2	193	19	100000300001
3	<input type="checkbox"/>	3	194	20	100000300001
4	<input type="checkbox"/>	4			
5	<input type="checkbox"/>	5			
6	<input type="checkbox"/>	6			
7	<input type="checkbox"/>	7			
8	<input type="checkbox"/>	8			
9	<input type="checkbox"/>	9			
10	<input type="checkbox"/>	10	201	28	100000300001

マウスにより選択した測定データは青く表示されます。

4-1-3 測定データの詳細表示

一覧表示された測定データをマウスで選択すると、選択された測定データを一覧画面下に表示します。

詳細表示

サンプルNo 1

受付コード 100000300001

受付日付 2013/10/09

年 産 2013

ロットNo 0

品 位 *****

品 種 *****

自由項目日付 2013/10/09

自由小粒点1 0.00

自由小粒点2 0.00

自由項目1 *****

自由項目2 *****

自由項目3 *****

自由項目4 *****

メモ

大分類 中分類 小分類

穀粒判定器

受付番号 192

測定日付 2013/10/09

	重量比	粒数比	粒 数
整 粒	81.7	78.7	787
胴割粒	0.1	0.1	1
その他	18.2	21.2	212

全粒数 1,000

食味計

測定No 18

測定日付 2013/10/09

食味値 78 point

D/W/A

タンパク質 7.1 % D

水分 12.8 %

アミロース 18.8 %

脂肪酸度 13.5 mg/100g

4-1-4 一覧コマンド

一覧で選択された測定データを元に、グラフ作成、印刷、データ出力、データ削除等、様々な処理を行うことができます。



① 検索設定

② 画像表示

③ 印刷

④ CSV 出力

⑤ 分布グラフ

⑥ 粒選シミュレータ

⑦ データ削除

⑧ データ出力

⑨ 測定画面

① 検索設定

一覧へ表示する測定データの表示条件を設定する検索条件の画面が表示されます。

② 画像表示

画像データが保存されている場合、画像が表示されます。

③ 印刷

選択した測定データの一覧、単票を連続で印刷します。検索内容も印刷出来ます。

④ CSV 出力

選択した測定データを Microsoft Excel 等の表計算ソフトで読込める CSV 形式でファイル出力します。

【メモ】

- CSV ファイルとは、値（数値やテキスト等）をコンマ（,）で区切られたテキストファイルのことを言います。
- 表計算ソフトで、値の表示や編集を行うことができます。
- Microsoft Excel 等で CSV ファイルを読込む場合は、一度 Microsoft Excel で CSV ファイルを認識させる必要があります。

⑤ 分布グラフ

選択した測定データを元に、測定分類毎の分布グラフを作成し、結果を印刷出来ます。

⑥ 粒選シミュレータ

選択した測定データを元に、厚みデータを使用した粒選工程をシミュレートする分布グラフを作成し、結果を印刷出来ます。

⑦ データ削除

選択した測定データを削除します。

⑧ データ出力

選択した測定データのコピーが出来ます。

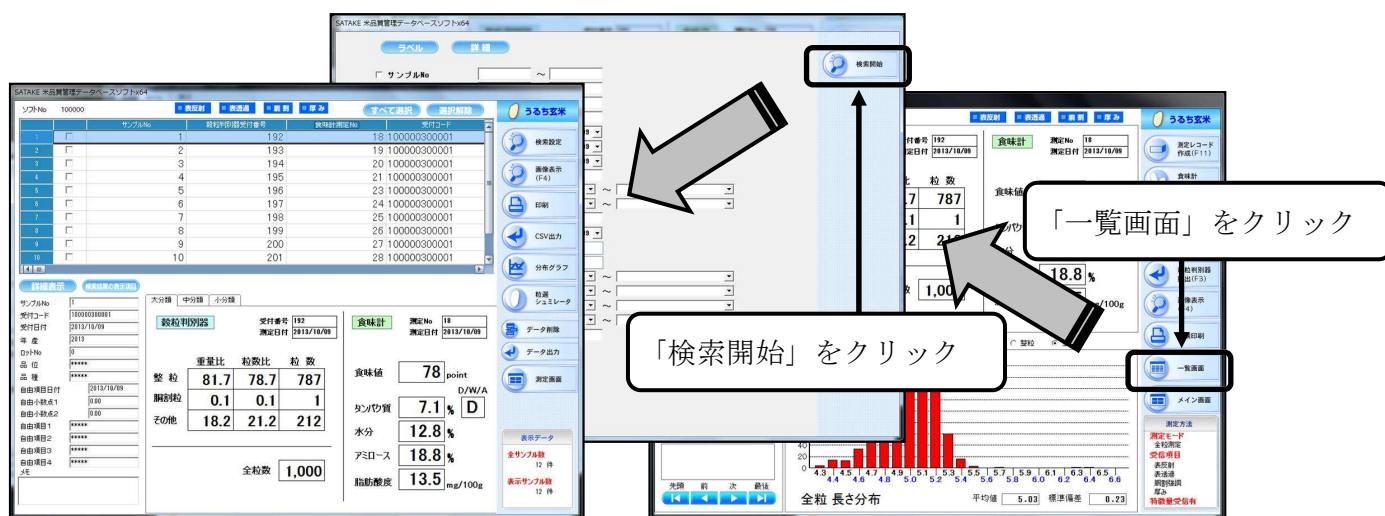
⑨ 測定画面

測定画面に戻ります。

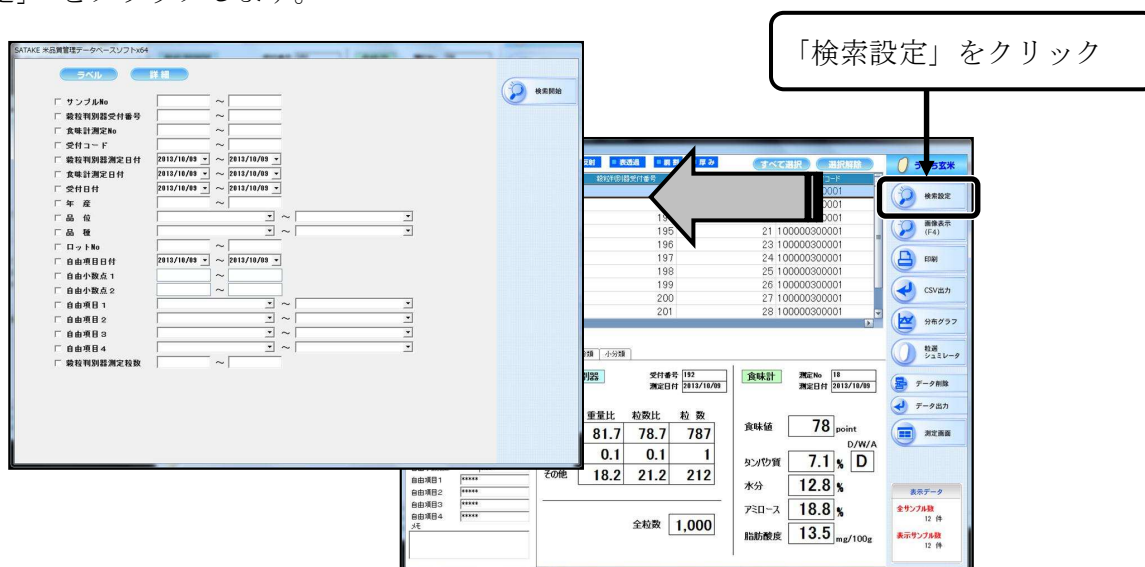
一覧機能の操作方法を説明します。

① 測定画面の「一覧画面」→「検索開始」→一覧画面が表示されます。

注意) 一覧画面に表示される測定結果は、検索の条件にて絞り込まれた結果となります。
全ての測定結果を表示していない場合があります。
絞り込みの設定をしていない場合は全件数表示されます。



② 一覧画面へ検索条件で絞り込みされた測定データが表示されます。再度検索を行いたい場合は、「検索設定」をクリックします。

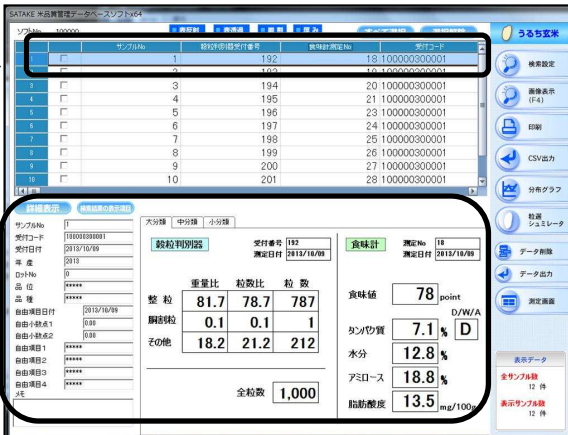


③ 検索条件を入力し、一覧画面へ絞り込みした測定データを表示します。

- ④ 一覧表示中の測定データの詳細を確認するには、確認したい測定データをクリックし、色を反転させます。
- ⑤ 一覧画面下部の測定データの詳細表示部分に反転させたデータの情報が表示されます。

詳細な情報を表示させたい
測定データをクリックし表示
の色を反転させます。

選択された測定データの詳
細な情報が表示されます。



- ⑥ 一覧へ表示された測定データを元に、一覧コマンドにある機能を活用したい場合は、一覧画面上部にある「すべて選択」をクリックするか、一覧内左側にあるチェックボックスをクリックして、チェックをしてください。


拡大図：すべて選択 選択解除
チェックボックスの一括チェック・一括解除が
出来ます。

すべて選択 **選択解除**

拡大図：チェックボックス

必要な測定データに
チェックを入れます。

1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>



- ⑦ 印刷、CSV出力、分布グラフ、粒選シミュレータ、データ削除、データ出力等の各機能は、⑥ で選択された測定データに対して処理が行われます。

4-3 検索設定の使用方法

検索条件の設定方法を説明します。

4-3-1 検索条件の入力

検索条件は、各検索条件の入力欄へ【左欄以上】～【右欄以下】の条件で入力します。

注意) 必ず左欄の数値を右欄の数値以下に設定してください。

4-3-2 検索条件の使用、未使用

検索条件に使用する項目には、各項目の左にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れてください。

例) サンプル No の 1 番から 400 番を検索する場合

<input checked="" type="checkbox"/>	サンプル No	1	～	400
-------------------------------------	---------	---	---	-----

4-3-3 検索開始

検索条件を入力した後に、「検索開始」をクリックして、検索を実行してください。
自動的に一覧画面へ移動し、検索条件に合った測定データが一覧に表示されます。
検索条件が指定されていない場合は、全件を表示します。

4-3-4 詳細な条件

検索条件には、ラベル（主にサンプル詳細ラベル項目）と詳細（主に測定データ項目）があります。

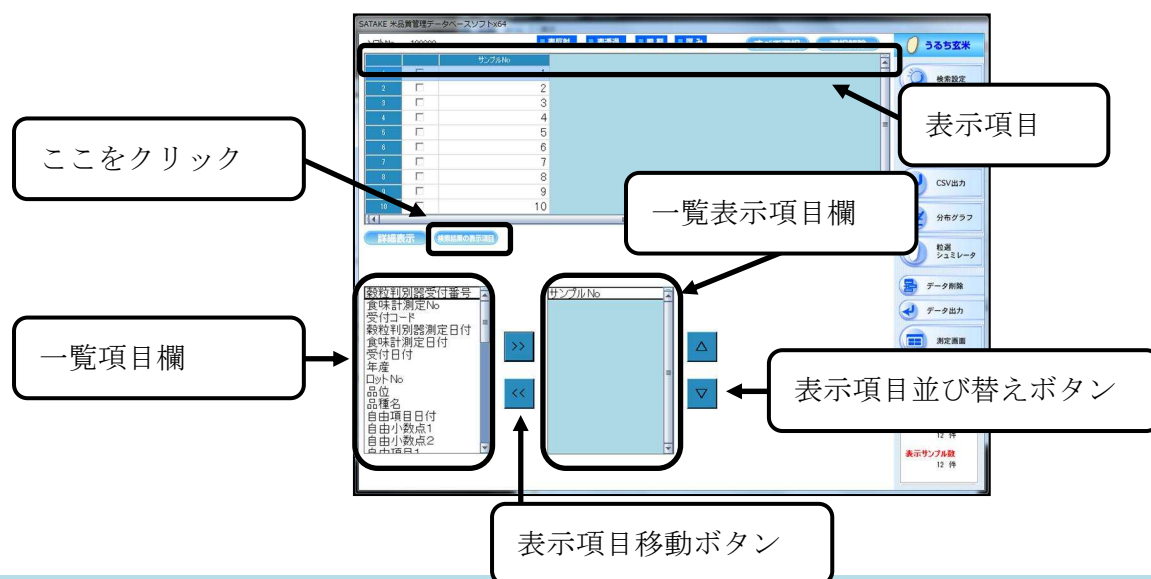
検索条件の切り替え

検索開始します

4-4 一覧項目の表示

4-4-1 一覧項目の表示



一覧内の表示項目の並び、表示・非表示を変更することが出来ます。





4-4-2 一覧項目表示設定の操作

一覧項目の並び替えと表示・非表示設定について説明します。

① 一覧項目の表示・非表示設定

- i) 表示したい項目を一覧項目欄より選択します。
- ii) 表示コマンドの  をクリックします。
- iii) 一覧表示欄に表示したい項目が追加されます。
- iv) 一覧表示項目欄より目的の項目を選択し、非表示  をクリックすると、一覧表示項目欄より削除されます。

② 一覧項目の並び替え

- i) 一覧表示項目欄より並び替えたい項目をマウスで選択します。
- ii) 並び替えコマンドをクリックします。
- iii) 現在の項目位置よりも一覧の左側へ表示する場合は、上  をクリックします。
- iv) 現在の項目位置よりも一覧の右側へ表示する場合は、下  をクリックします。

4 - 5 画像の表示

4 - 5 - 1 画像の表示

一覧で選択した測定データに画像が保存されている場合は、「画像表示」をクリックすると、画像が表示されます。



注意) 画像データの表示には、画像データを受信しておく必要があります。

4 - 6 印刷

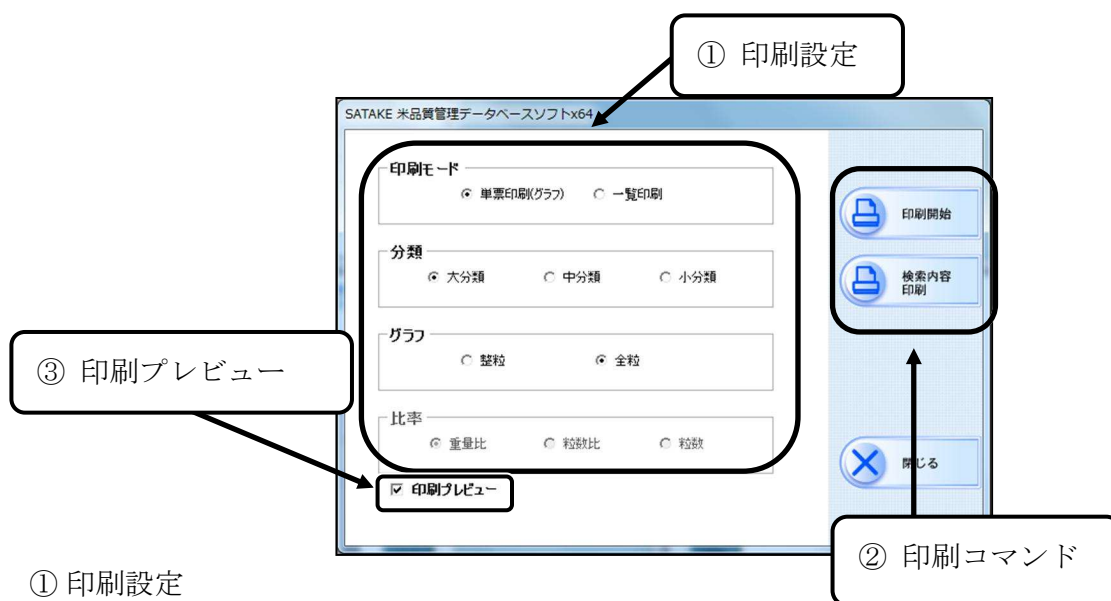
4 - 6 - 1 印刷設定画面の表示

- ① 一覧より印刷する測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「印刷」をクリックし、印刷設定画面を表示させます。



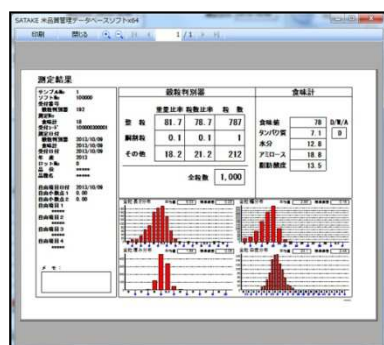
4-6-2 印刷設定の機能

印刷設定画面には、印刷設定・印刷コマンド・印刷プレビューの機能があります。



i) 印刷モード設定

印刷された測定データの印刷を、単票形式・一覧形式で選択します。



単票

サンプル名	重量比	粒数比	粒数	全粒数
1	88.7	76.7	787	78
2	88.7	76.7	787	78
3	88.7	76.7	787	78
4	88.7	76.7	787	78
5	88.7	76.7	787	78
6	88.7	76.7	787	78
7	88.7	76.7	787	78
8	88.7	76.7	787	78
9	88.7	76.7	787	78
10	88.7	76.7	787	78
11	88.7	76.7	787	78
12	88.7	76.7	787	78
13	88.7	76.7	787	78
14	88.7	76.7	787	78
15	88.7	76.7	787	78
16	88.7	76.7	787	78
17	88.7	76.7	787	78
18	88.7	76.7	787	78
19	88.7	76.7	787	78
20	88.7	76.7	787	78

一覧

ii) 分類設定

印刷分類データを、主要項目・中分類・小分類より選択します。

iii) 比率設定 (一覧印刷のみ有効)

印刷分類データの表示を、重量比・粒数比・粒数より選択します。

② 印刷コマンド

印刷モード設定により、単票印刷と一覧印刷が出来ます。

i) 単票印刷コマンド

「単票（グラフ）の印刷」をクリックすると印刷が開始されます。

ii) 一覧印刷コマンド

「印刷開始」をクリックすると、印刷が開始されます。

iii) 検索内容印刷

「検索内容印刷」をクリックすると、検索設定画面で設定した検索内容を印刷出来ます。



検索内容

③ 印刷プレビュー

印刷プレビューにチェックを入れて、印刷を開始すると、印刷プレビュー画面が表示されます。

4 - 7 CSV 出力

4 - 7 - 1 CSV ファイル出力

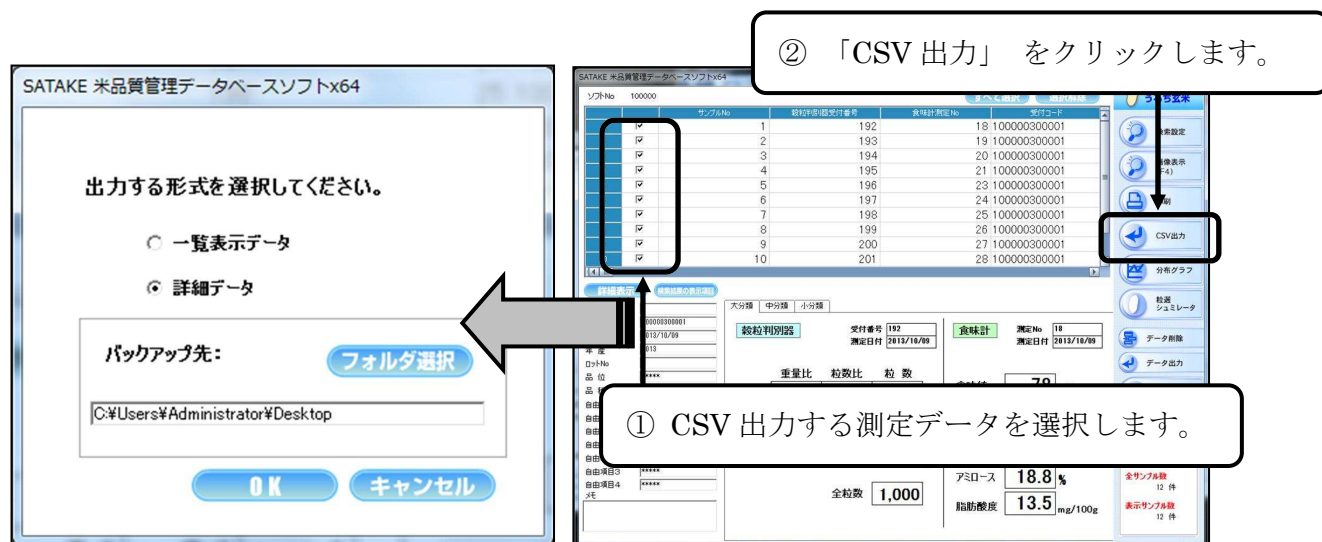
測定データを CSV ファイル形式で出力することが出来ます。

【メモ】

- CSV ファイルとは、値（数値やテキスト等）をコンマ（,）で区切ったテキストファイルのことを言います。
- 表計算ソフトで値の表示や編集を行うことができます。
- Microsoft Excel 等で CSV ファイルを読み込む場合は、一度 Microsoft Excel で CSV ファイルを認識させる必要があります。

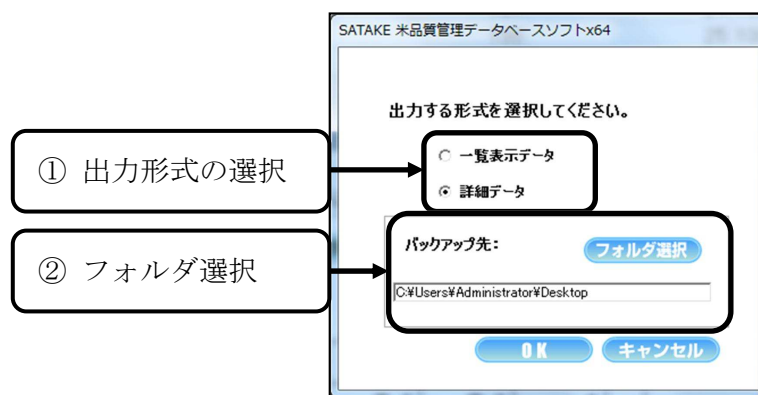
4 - 7 - 2 CSV 出力設定画面

- ① 一覧より CSV 出力する測定データを選択します (1 データ以上)。
- ② 「CSV 出力」 をクリックし、CSV 出力設定画面を表示させます。



4 - 7 - 3 CSV 出力設定

CSV ファイル出力の設定について説明します。



- ① 出力形式の選択
- i) 「一覧表示データ」
- 一覧で選択されたデータを、表示されている項目にて **CSV** ファイルで出力します。

【ポイント】 一覧で表示される項目や項目の並びを変更することで、より目的に合った CSV ファイルを出力出来ます。

- ii) 「詳細データ」ID(粒番号)、長さ(Length)、幅(Width)、厚み(Thick)、白度(Hakudo)、表面積(AreaU)、厚み面積(AreaS)、判別結果(Hanbetsu)の各データを測定サンプル1粒毎にCSVファイルとして出力します。

※ 詳細データの Yobi1、Yobi2 は使用していません。

判別結果 (Hanbetsu) は以下の数値データとして出力されます。

玄米の判別番号と判別結果

判別番号	玄米判別結果
0、1、2、3	整粒
4	乳白粒
5	基部未熟粒
6	腹白未熟粒
7	青未熟粒
8	その他未熟粒
9	砕粒
10	胴割粒
11	発芽粒
12	芽くされ
13	茶米
14	斑点粒
15	虫害粒
16	病害粒
17	奇形粒
18	その他被害粒
19	青死米
20	白死米
21	全面着色粒
22	部分着色粒
23	赤米

精米の判別番号と判別結果

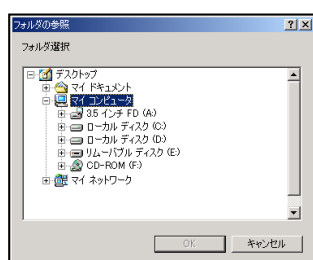
判別番号	精米判別結果
0、1	完全粒
2	胴割粒
3	全粉状質粒
4	半粉状質粒
5	腹背白粒
6	損傷粒
7	その他被害粒
8	カメムシ
9	イネシン
10	全面着色粒
11	砕粒
12	異種
13	異物

醸造用玄米の判別番号と判別結果

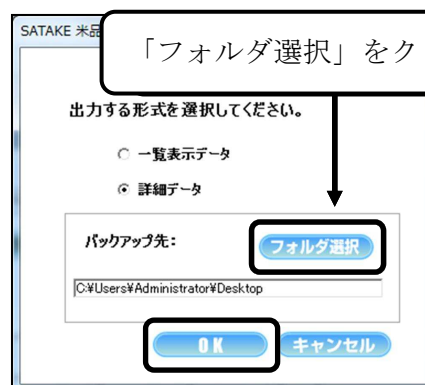
判別番号	醸玄判別結果
0、5	心白整粒
1、2、3、4	無心白整粒
8	青未熟粒
6、7、9	心白その他未熟
10	無心白その他未熟
11	砕粒
12	胴割粒
13	発芽粒
14	芽くされ
15	茶米
16	斑点粒
17	虫害粒
18	病害粒
19	奇形粒
20	その他被害粒
21	青死米
22	白死米
23	全面着色粒
24	部分着色粒
25	赤米

② CSV ファイルの出力フォルダの選択

保存フォルダを選択します。



「フォルダ選択」をクリックします。



③ ファイルの出力

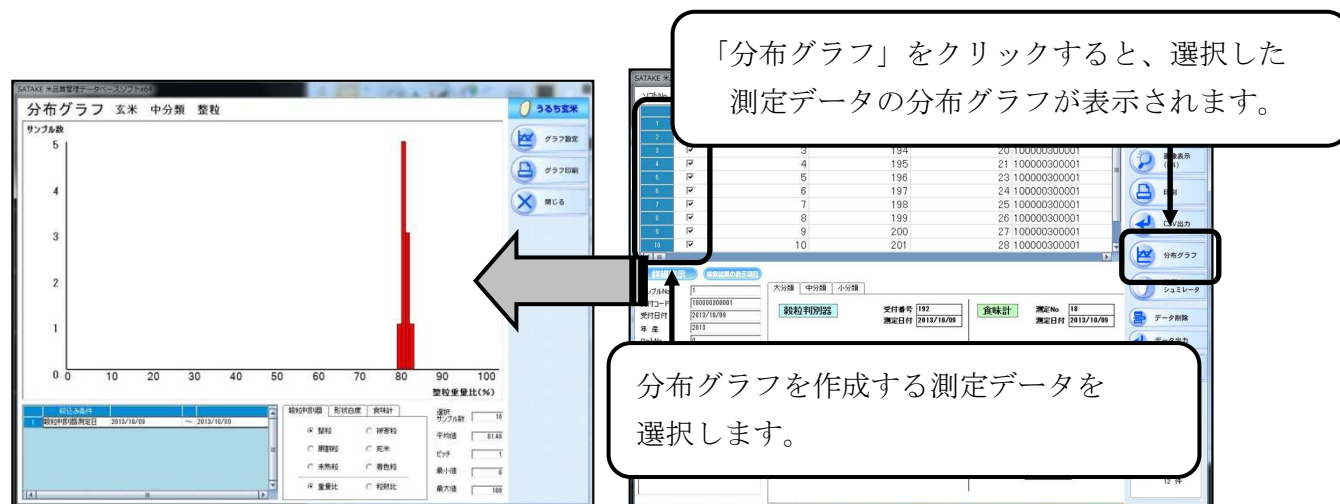
ファイル出力先を設定した後に、「OK」をクリックすると、CSV ファイルが出力されます。

注意) 複数の詳細データ出力する場合、データ容量及びファイル数が非常に多くなりますのでご注意ください。

4-8 分布グラフ

4-8-1 分布グラフ画面

- ① 一覧より分布グラフ作成の測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「分布グラフ」をクリックすると、分布グラフ画面が表示されます。



4-8-2 分布グラフ機能で出来ること

測定データを使用した分布グラフの作成と印刷が出来ます。

うるち玄米及び醸造用玄米分布グラフ作成可能項目（分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。）

穀粒判別器	形状白度	食味計
整粒	長さ	食味値
胴割粒	幅	アミロース
未熟粒	厚み	タンパク質
被害粒	白度	水分
死米		脂肪酸度
着色粒		

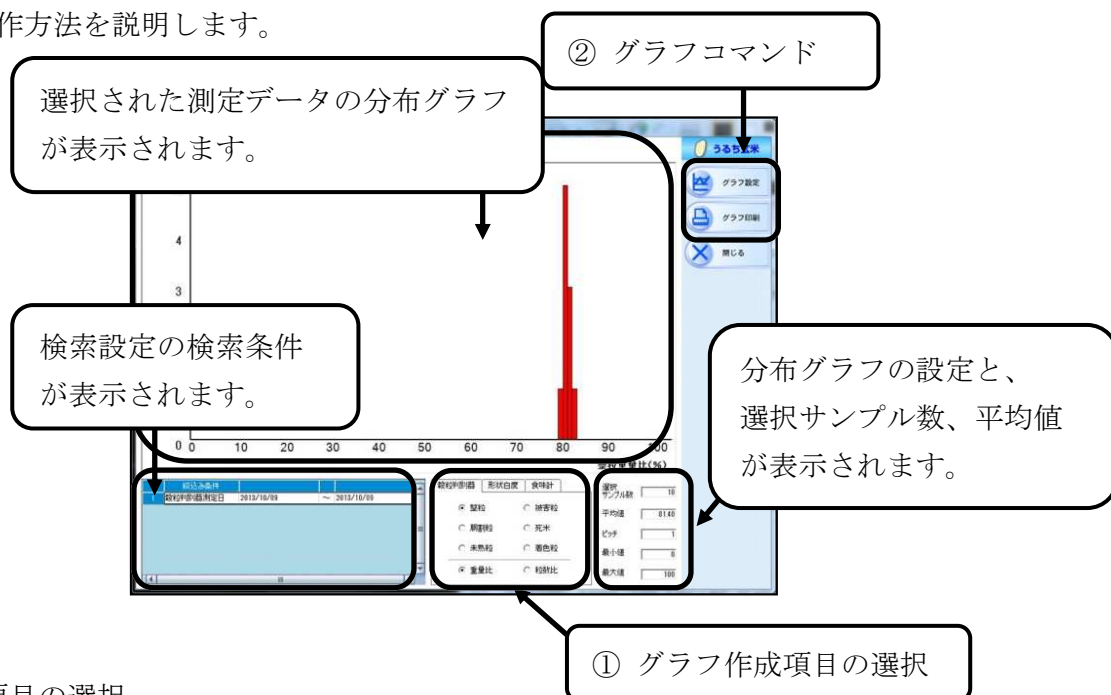
うるち精米分布グラフ作成可能項目（分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。）

穀粒判別器	形状白度	食味計
完全粒	長さ	食味値
砕粒	幅	アミロース
粉状質粒	厚み	タンパク質
被害粒	白度	水分
着色粒		
異種・異物		

※その他測定では、分布グラフの表示は出来ません。

4-8-3 分布グラフの操作

分布グラフの操作方法を説明します。



① グラフ作成項目の選択

分布グラフを作成したい項目をクリックすると、選択された項目の分布グラフが作成されます。

② グラフコマンド

i) グラフ設定

X軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。

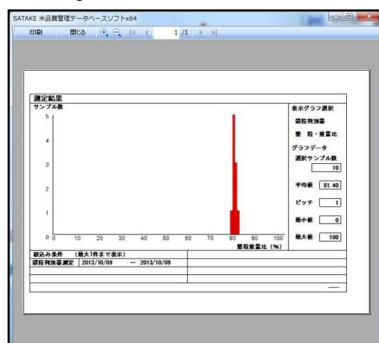
「グラフ設定」をクリックして、分布グラフ設定画面を表示させ、各項目を設定してください。
設定値を元にグラフを作成します。



ii) グラフ印刷

作成した分布グラフを印刷することが出来ます。

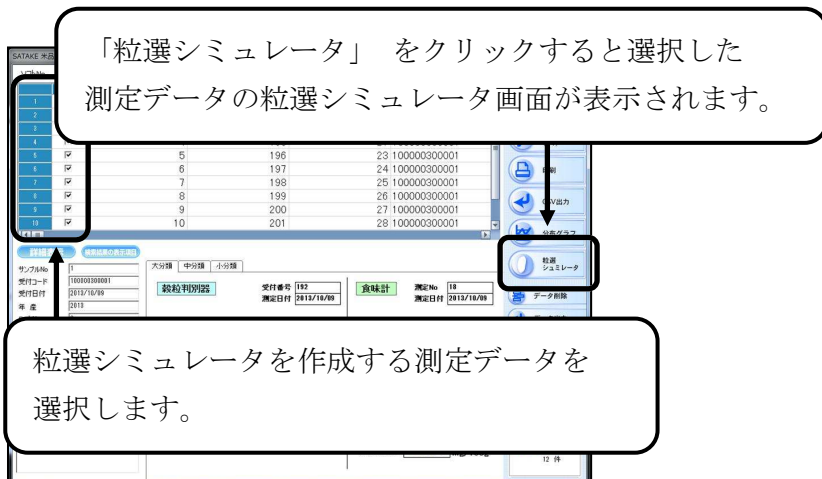
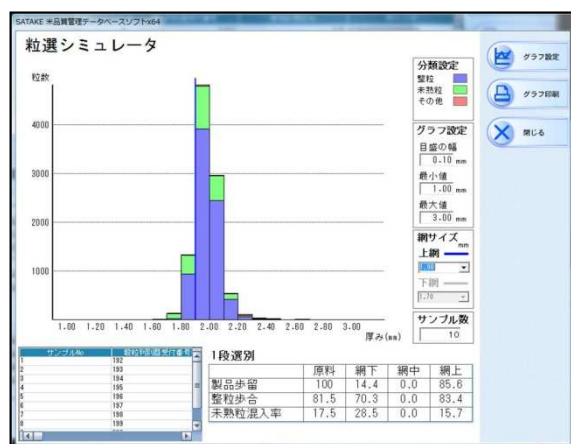
「グラフ印刷」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。印刷を実行する場合は、印刷をクリックしてください。



4-9 粒選シミュレータ

4-9-1 粒選シミュレータ画面

- ① 一覧より粒選シミュレータ作成の測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「粒選シミュレータ」をクリックすると、粒選シミュレータ画面が表示されます。



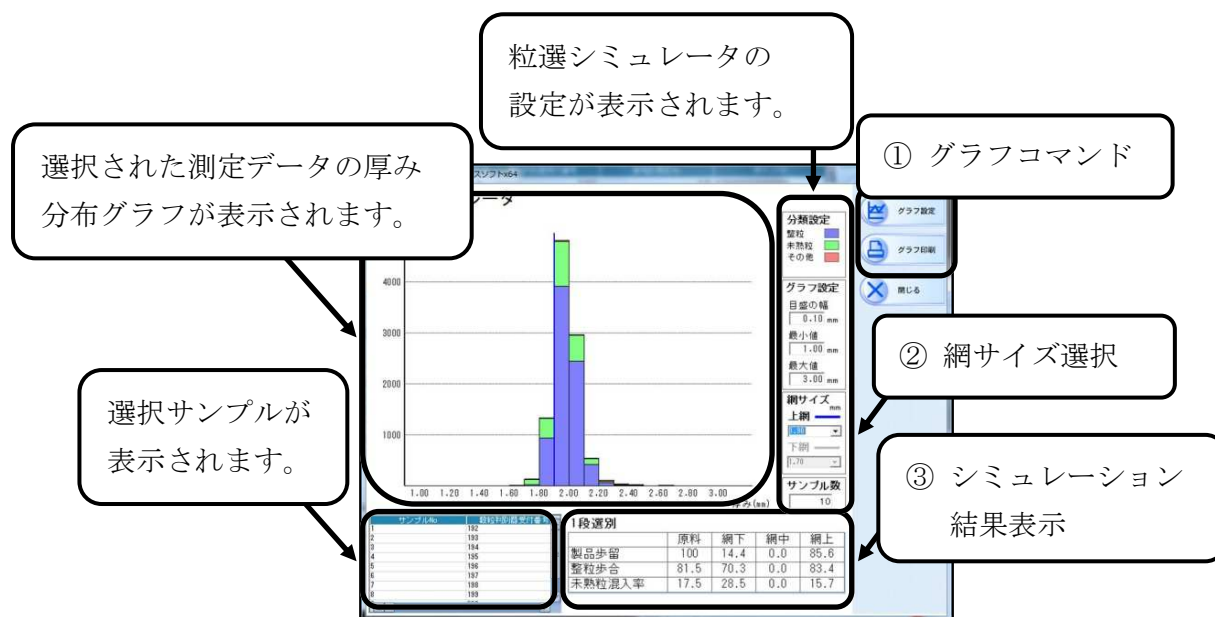
4-9-2 粒選シミュレータ機能で出来ること

- ① 粒選シミュレータでは、測定サンプルの厚み分布図の作成と、網選別を行った際の重量比を元にした製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を網上、網中、網下でシミュレートします。
- ② 厚みによる分布グラフを作成します。分布グラフはうるち玄米の場合、整粒、未熟粒、その他を厚み毎に粒数により表示します。
- ③ 選別する網の段数を設定出来ます。最大で2段階選別までシミュレーションが行え、網上、網中、網下の製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率が計算出来ます。

注意） 粒選シミュレータを使用するには、予め穀粒判別器より測定データ及び下記の特徴量を受信しておく必要があります。
起動画面-「設定」-「通信設定」-穀粒判別器との通信方法「特徴量を受信する」にチェックを入れて測定する必要があります。

4-9-3 粒選シミュレータの操作

粒選シミュレータの操作方法を説明します。



① グラフコマンド

i) 「グラフ設定」

粒選シミュレータに関する設定を変更出来ます。

1. 分類設定

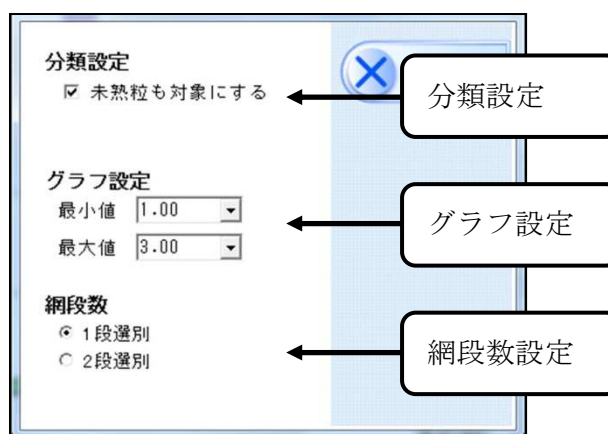
分布グラフの未熟粒表示の設定をします。未熟粒を表示するには、チェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。

2. グラフ設定

X軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。各項目設定後、設定値を元にグラフを作成します。

3. 網段数設定

選別する網の段数を設定出来ます。2段選別でシミュレートすると、網中の製品歩留、整粒歩留、未熟粒混入率が計算されます。




ii) 「グラフ印刷」

作成した分布グラフを印刷することが出来ます。

ア) 「グラフ印刷」をクリックし、印刷プレビュー画面が表示されるので、印刷を実行する場合は、「印刷」をクリックしてください。

② 網サイズ選択

網サイズの  をクリックすると、網サイズのリストが表示されます。目的の網サイズを選択すると、選択網サイズでシミュレートします。



③ シミュレート結果表示

選択された網のサイズを元に、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を表示します。

i) 網上

選択された上網サイズ以上の厚みサンプル

ii) 網中

選択された下網サイズ以上～上網サイズ未満の厚みサンプル

iii) 網下

選択された下網サイズ未満の厚みサンプル

iv) 各項目の計算式

※網上サンプルの計算式

製品歩留 = 網上サンプル重量 ÷ 全重量

整粒歩合 = 網上整粒重量 ÷ 網上サンプル重量

未熟粒混入率 = 網上未熟粒重量 ÷ 網上サンプル重量

注意) シミュレーション結果は、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を重量比で計算、表示します。

4-10 データ削除とデータ出力

4-10-1 データ削除とデータ出力

一覧より選択されたデータの削除と出力が行えます。

データ削除

「データ削除」と「データ出力」をクリックすると、選択測定データの削除と出力が出来ます。

データ出力

測定データを選択します。

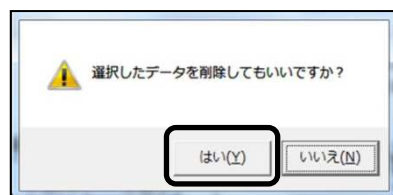
The screenshot shows the main interface of the 'SATAKE 米品質管理データベースソフト x64'. On the left, there are two callout boxes: 'データ削除' (Data Deletion) pointing to a confirmation dialog box with 'はい(Y)' (Yes) and 'いいえ(N)' (No) buttons, and 'データ出力' (Data Output) pointing to a dialog box with 'フォルダ選択' (Select Folder) and '画像データの出力' (Output image data) options. On the right, a larger callout box labeled '測定データを選択します。' (Select measurement data) points to a table of data. The table has columns for 'サンプルNo.' (Sample No.), '穀物検査番号' (Grain inspection number), '検出計測値No.' (Detection measurement value No.), and '検出コード' (Detection code). The table contains 10 rows of data. Below the table, there are various input fields and buttons for data processing, including 'データ削除' and 'データ出力' buttons on the right side of the interface.

4-10-2 データ削除

一覧より選択した測定データを削除します。

① 一覧より測定データを選択します (1 データ以上)。

② 「データ削除」をクリックすると、データ削除の確認メッセージが表示されます。



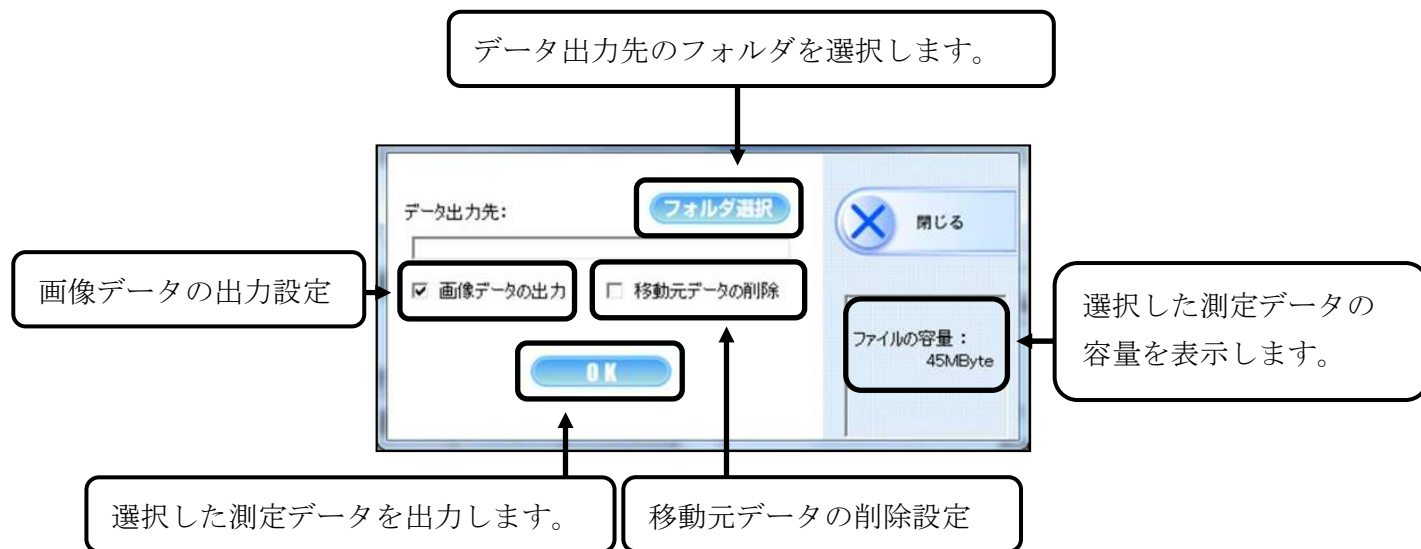
③ データ削除を行う場合は「はい」を選択します。データ削除をやめる場合は「いいえ」を選択します。

注意) データ削除を行ったデータは、元に戻すことができません。データ削除を行う前に、一覧画面にあるデータ出力の実行をお勧めします。

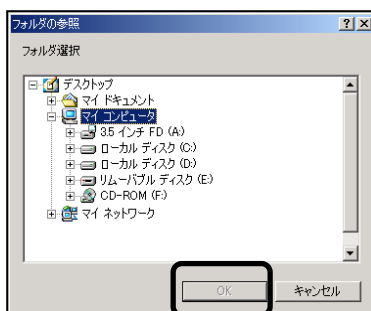
4-10-3 データ出力

一覧より選択した測定データをコピーします。測定データのバックアップとしてご活用ください。

- ① 一覧より測定データを複数選択します（1 データ以上）。
- ② 「データ出力」をクリックすると、データ出力の設定画面が表示されます。



- ③ データ出力先フォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、出力先フォルダの選択画面が表示されるので設定し、「OK」を選択してください。



- ④ データ出力時の「画像データの出力」、「移動元データの削除」を設定します。

画像データを出力する場合は、「画像データの出力」のチェックボタンをクリックして、チェックを入れてください。移動元データを削除する場合は、「移動元データの削除」のチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。設定後「OK」を押せば設定した保存先にデータが出力されます。



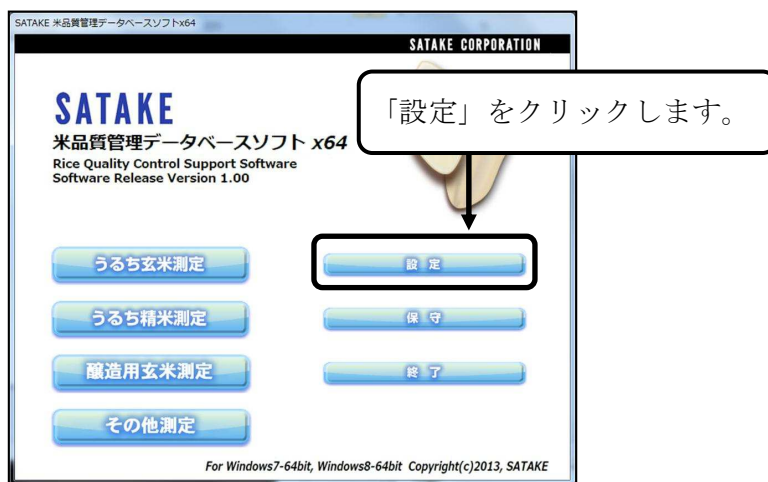
5) 設定画面の操作

5-1 設定画面の基本的な機能

画面表示やサンプル詳細リスト（マスタ）の変更、通信設定、データ保存先等を設定出来ます。

5-1-1 設定画面の表示

起動画面の「設定」を選択します。



5-1-2 設定で出来ること

① 表示設定 1

サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。

② 表示設定 2

食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更が出来ます。

③ 印刷設定

印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。

④ 通信設定

食味計とのシリアル通信(RS232C ポート番号)の設定や、穀粒判別器の特徴量の受信設定が出来ます。

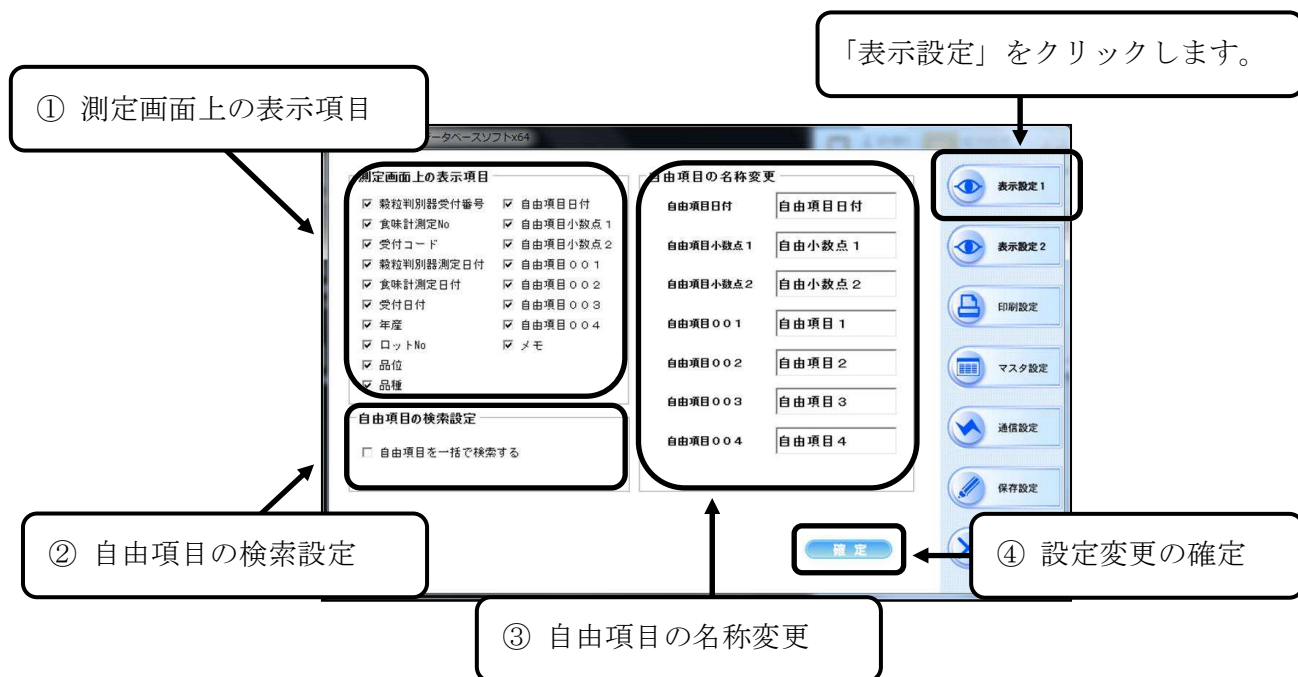
⑤ 保守設定

測定データの保存先を設定出来ます。

5-2 表示設定 1

5-2-1 表示設定 1 の変更

サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。

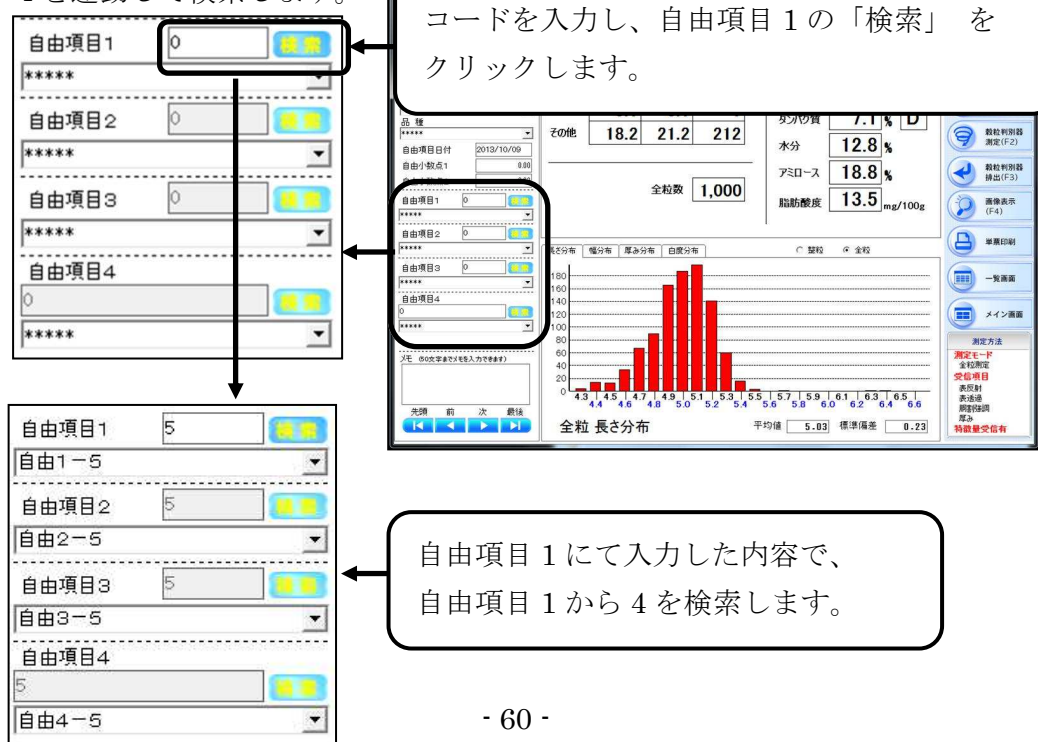


① 測定画面上の表示項目

測定画面のサンプル詳細欄に表示されている項目を表示するか、非表示とするかを選択出来ます。
表示する項目にチェックを入れてください。

② 自由項目の検索設定

「自由項目を一括で検索する」にチェックを入れると、測定画面の自由項目 1 に入力した内容で自由項目 2～4 を連動して検索します。



③ 自由項目の名称変更（最大7文字まで入力が可能です。）

測定画面のサンプル詳細欄に表示されている自由項目の名称を自由に変更することが出来ます。

自由項目の名称変更	
自由項目日付	自由項目日付
自由項目小数点1	自由小数点1
自由項目小数点2	自由小数点2
自由項目001	自由項目1
自由項目002	自由項目2
自由項目003	自由項目3
自由項目004	自由項目4

④ 設定変更の確定

各設定の変更後「確定」をクリックして、変更した設定を保存します。

5-3 表示設定2

5-3-1 表示設定2の変更

食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更が出来ます。

SATAKE 米品質管理データベースソフトx64

食味計の表示項目及び名称変更

うち玄米測定	うち精米測定	醸造用玄米測定	その他測定	→ その他測定
<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	<input type="checkbox"/> 食味値	<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	⇒ 食味値
<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	<input type="checkbox"/> タンパク質	<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	⇒ タンパク質
<input checked="" type="checkbox"/> 水分	<input checked="" type="checkbox"/> 水分	<input type="checkbox"/> 水分	<input checked="" type="checkbox"/> 水分	⇒ 水分
<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	<input type="checkbox"/> アミロース	<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	⇒ アミロース
<input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度		<input type="checkbox"/> 脂肪酸度	<input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度	⇒ 脂肪酸度

確定

設定を変更する場合は、「確定」をクリックします。

表示設定1
表示設定2
印刷設定
マスタ設定
通信設定
閉じる

表示項目の変更、その他測定モードの測定項目の名称の変更を行った場合は、「確定」をクリックすれば設定が変更されます。

※醸造用玄米測定モードの場合、

食味計は醸造用玄米に対応しておりません。

食味計の測定結果のデフォルト設定は非表示です。

※表示項目をタンパク質のみにしたい場合、

タンパク質のチェックボックスにチェックを入れれば
測定画面にタンパク質のみ表示されます。

※その他測定モードの場合、

測定項目の名称を変更出来ます。

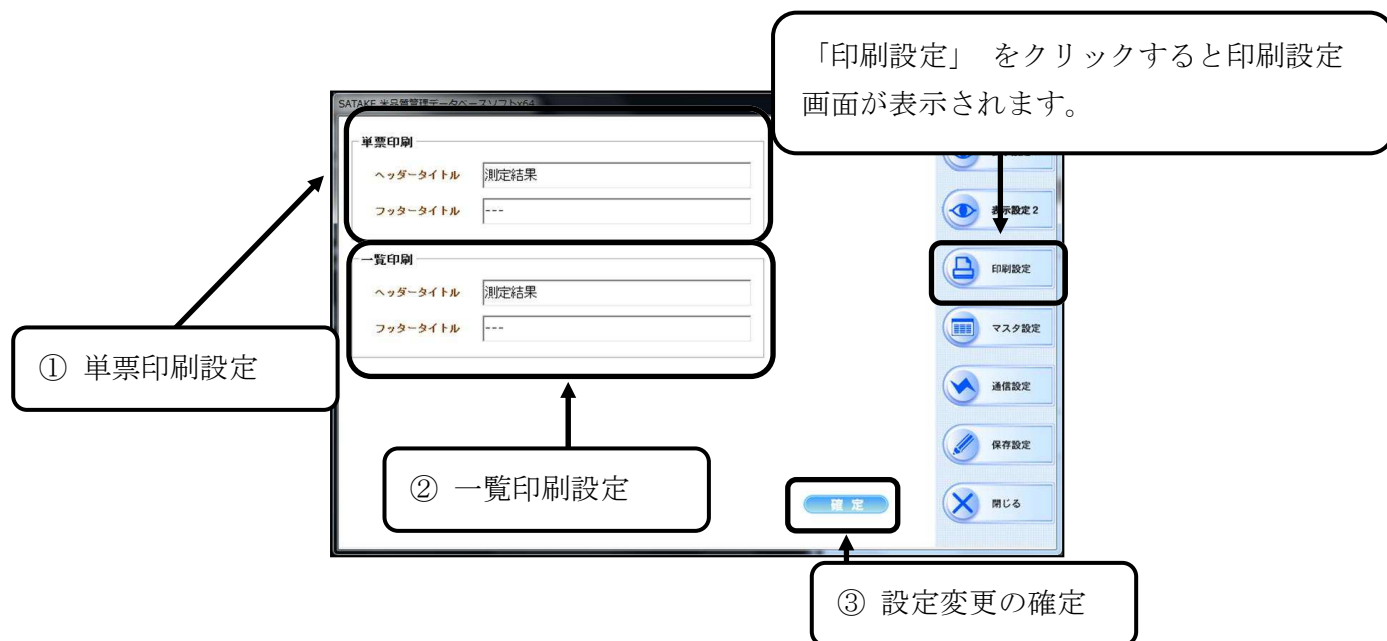
食味計が小麦等に対応している場合にご使用ください。

ただし単位は変更出来ません。

5 - 4 印刷設定

5 - 4 - 1 印刷設定の変更

印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。

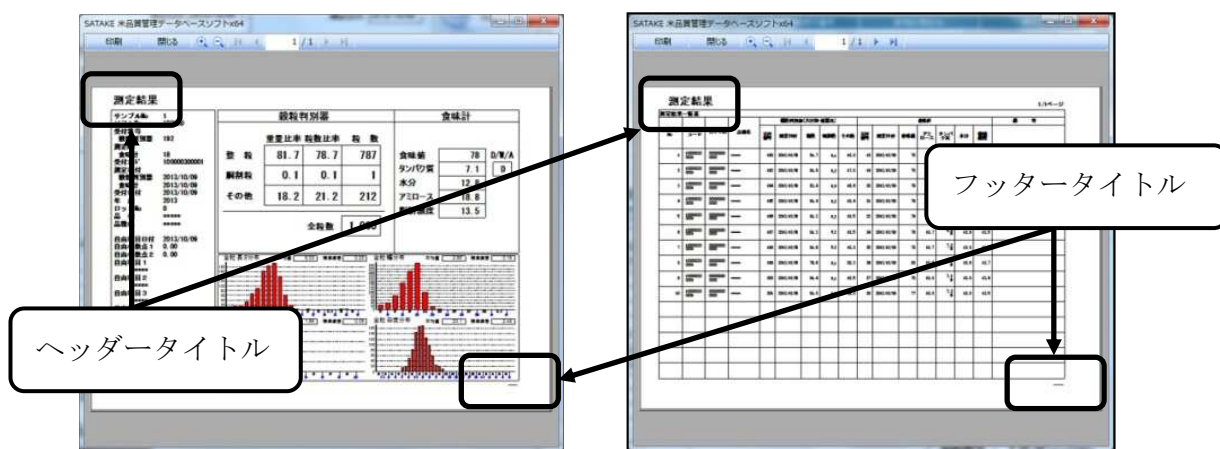


① 単票印刷設定（最大 15 文字まで入力が可能です。）

単票、分布グラフ、粒選シミュレータ（フッタータイトルのみ）、検索内容印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。

② 一覧印刷設定（最大 15 文字まで入力が可能です。）

一覧印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。



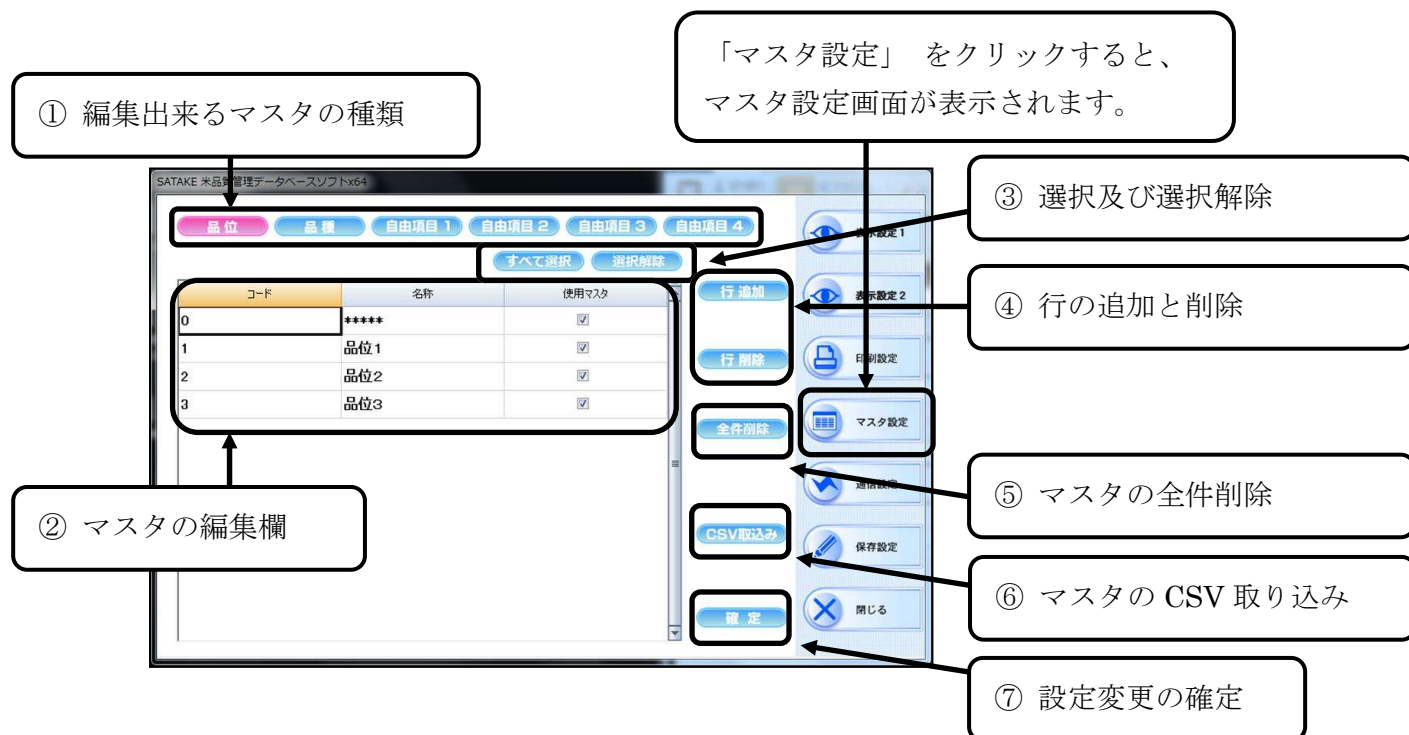
③ 設定変更の確定

各設定の変更後「確定」をクリックして、設定値を保存します。

5-5 マスタ設定

5-5-1 表示設定の変更

サンプル詳細欄で選択するリスト内容（マスタ）を編集出来ます。



① 編集出来るマスタの種類

サンプル詳細欄のリスト選択を行う項目、品位、品種、自由項目 1～4 のリスト内容を編集できます。編集したマスタをクリックしてください。

② マスタ編集欄

マスタ編集欄は、コード、名称、使用マスタで構成されています。

i) コード

リストへ表示する際の順位を入力します。コードは必ず異なる半角数値を入力してください。

ii) 名称

リストへ表示する際の名称を入力します。

iii) 使用マスタ

サンプル詳細欄のリスト選択を行う際、使用マスタへチェックの入ったマスタのみリストへ表示されます。

コード	名称	使用マスタ
0	*****	<input checked="" type="checkbox"/>
1	品位 1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	品位 2	<input type="checkbox"/>

ここをクリック

iv) 最大マスタ入力数

各マスタには、最大入力コード数と最大文字数があります。

マスター	コード(最大桁数)	名称(最大文字数・全角)
品 位	4	5
品 種	4	10
自由項目1	9	10
自由項目2	9	10
自由項目3	9	10
自由項目4	14	20

③ 選択及び選択解除

「すべて選択」をクリックすると、使用マスタのチェックボックスが全てチェックされます。

「選択解除」をクリックすると、使用マスタのチェックボックスのチェックが全て解除されます。



④ 行の追加と削除

マスタへの入力欄を追加したい場合や、不要なマスタがある場合に、マスタを追加、削除出来ます。

i) 行の追加

「行追加」をクリックしてください。マスタ編集欄の最後に新たな行が追加されます。

ii) 行の削除

マスタ編集欄の削除したい行をクリックし、「行削除」をクリックしてください。

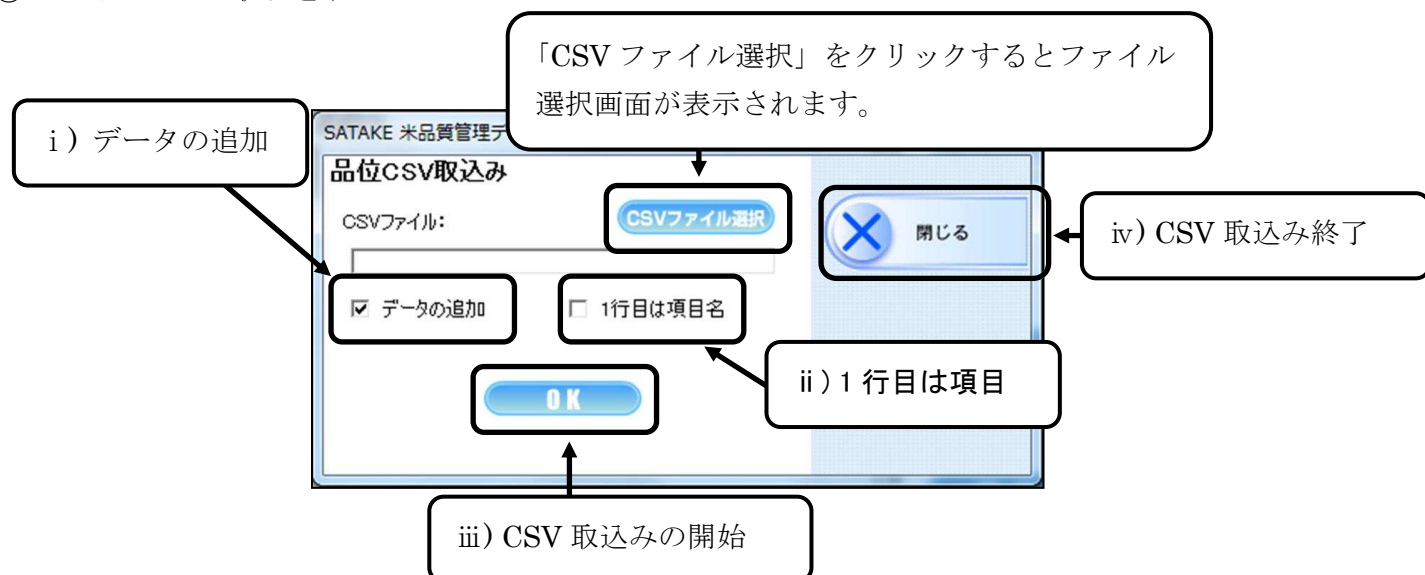
選択された行が削除されます。

⑤ マスタの全件削除

マスタを全件削除します。

注意） 使用中のマスタ名称を変更すると、サンプル詳細欄の測定データ全てが変更後の名称へ変更されます。

⑥ マスタの CSV 取り込み



1 列目にコード、2 列目に対象のマスタ内容を入力した CSV ファイルを用意します。

「CSV ファイル選択」をクリックして用意した CSV ファイルを選択します。

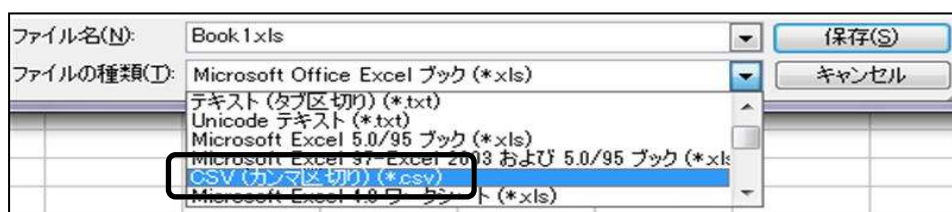
例

	A	B
1	1	品位1
2	2	品位2
3	3	品位3
4	4	品位4
5	5	品位5

※CSV ファイルの作成方法

Microsoft Excel にて上記表を作成します。

保存する際にファイルの種類で CSV(カンマ区切り) 形式を選択して保存すれば作成出来ます。



i) データの追加

本ソフトウェアに保存しているマスターデータに追加したい場合はチェックを入れてください。

ii) 1 行目は項目名

準備している CSV ファイルの 1 行目が項目名になっている場合はチェックを入れてください。

※チェックが入っている場合、1 行目を読み飛ばします。例

	A	B
1	コード	名称
2	1	品位1
3	2	品位2
4	3	品位3
5	4	品位4
6	5	品位5

iii) CSV 取り込みの開始

CSV ファイルのコードと名称を読み込みます。

※コードが重複している場合は読み飛ばします。

iv) CSV 取り込み終了

CSV 取込みの画面を終了します。

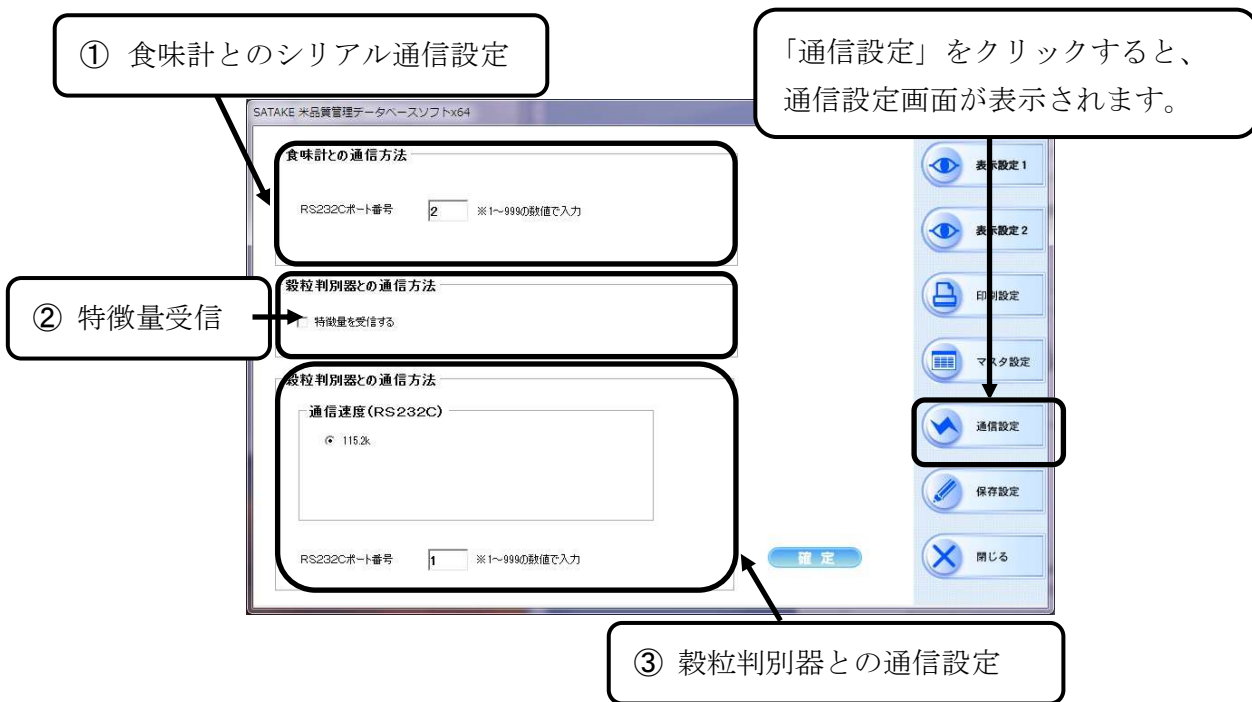
⑦ 設定変更の確定

「確定」をクリックすると、変更した内容を保存します。

5 - 6 通信設定

5 - 6 - 1 通信設定の変更

食味計と穀粒判別器のシリアル通信 (RS232C ポート番号) 設定を行います。



① 食味計との通信方法

食味計とのシリアル通信ポートの設定を行います。

[2) 運転前の設定] を参照してください。

② 特微量受信

通常は使用しません。チェックを入れないでください。

③ 穀粒判別器との通信方法

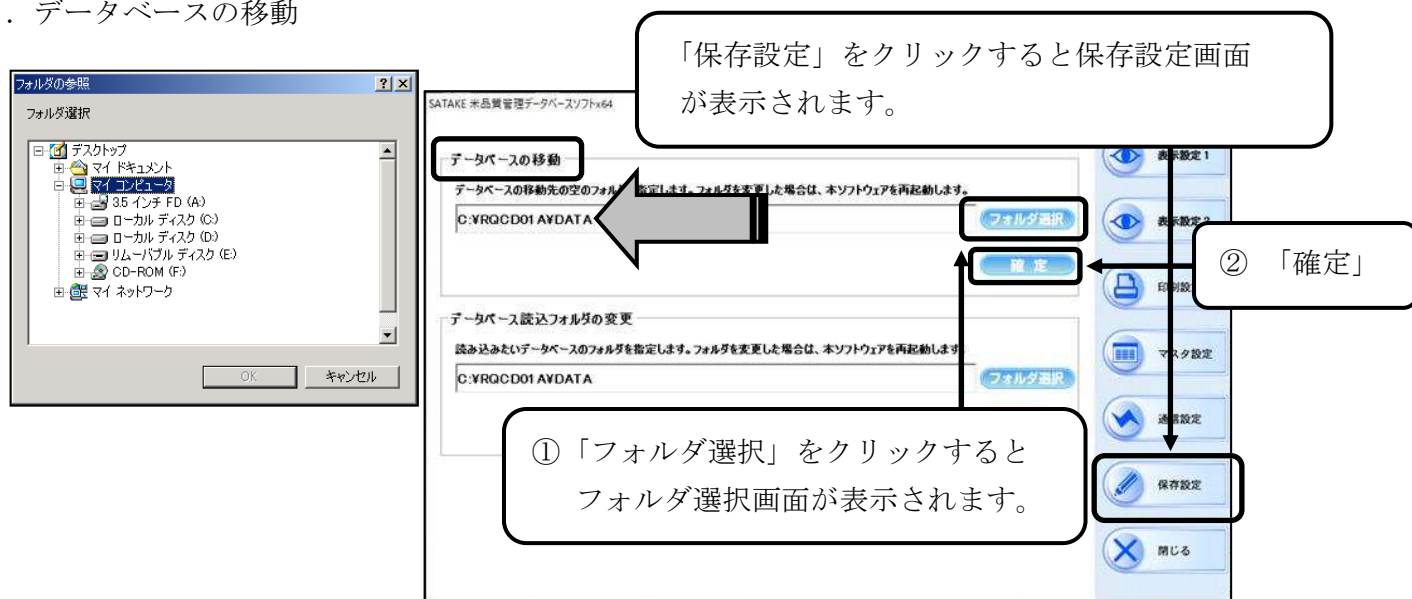
穀粒判別器とのシリアル通信ポートの設定を行います。

[2) 運転前の設定] を参照してください。

5-7 保存設定

5-7-1 保存設定の変更

1. データベースの移動

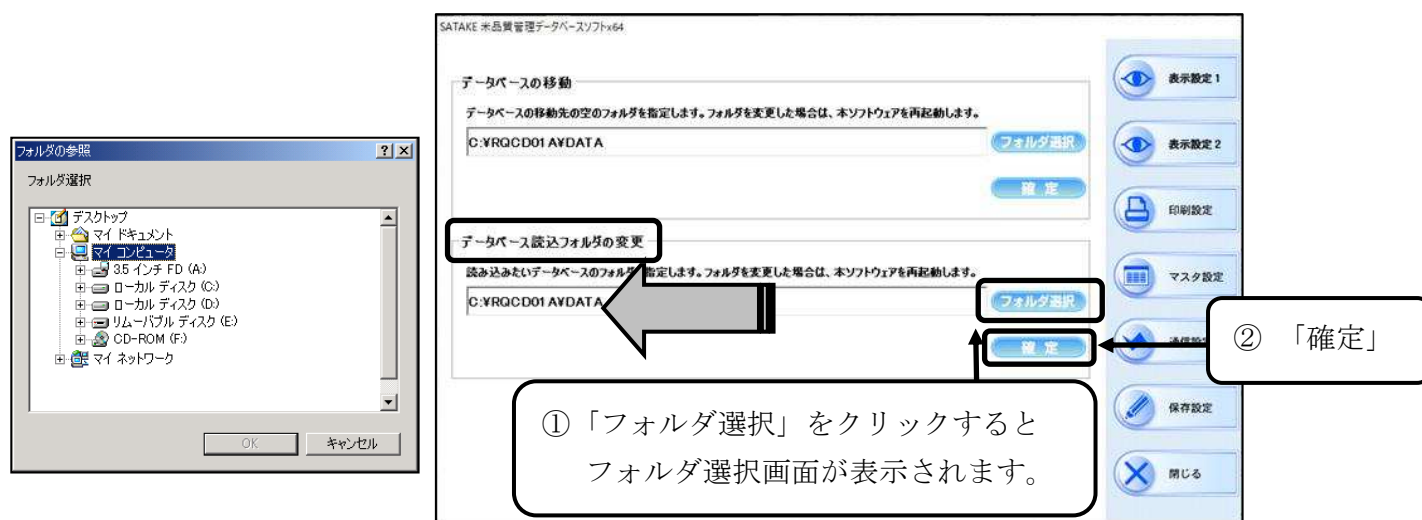


- ① データベースを移動します。「フォルダ選択」をクリックして移動先の参照設定をしてください。
- ② 「確定」をクリックしてパスの変更を行います。変更した後はソフトを再起動します。

注意 1) 通常は、初期値（本ソフトウェアのインストールされているフォルダ内）のままでご使用ください。

注意 2) パソコンに詳しい方のみ変更を行うようにしてください。

2. データベース読込フォルダの変更



- ① 「データ出力」で保存したフォルダを指定することで、読み込むデータベースの切り替えを行うことができます。「フォルダ選択」をクリックして読み込むデータベースの参照設定をしてください。
- ② 「確定」をクリックしてパスの変更を行います。変更した後はソフトを再起動します。

※ 旧バージョンで「データ出力」した場合、マスタが含まれていません。読み込みたいフォルダに Master.mdb(C:\YRQCD01\AYDATA¥Master.mdb)をコピーしてください。

6) 保守画面の操作

6-1 保守画面の基本的な機能

保守画面では、データ出力されたデータの読み込み、マスターデータの出力と読み込み、既存の穀粒判別器データベースソフトのデータ読み込みが行えます。

6-1-1 保守画面の表示

起動画面の保守を選択します。

「保守」をクリックすると、保守画面が表示されます。



6-1-2 保守で出来ること

1① 測定データ読み込み

データ出力した測定データを読み込み、現在のデータベースの最後尾に連結して保存します。

2② マスターデータ移動

マスターデータを移動（コピー）して、現在のマスターをバックアップします。

3③ マスターデータ読み込み

移動されたマスターデータを読み込み、現在のマスターへ保存します。

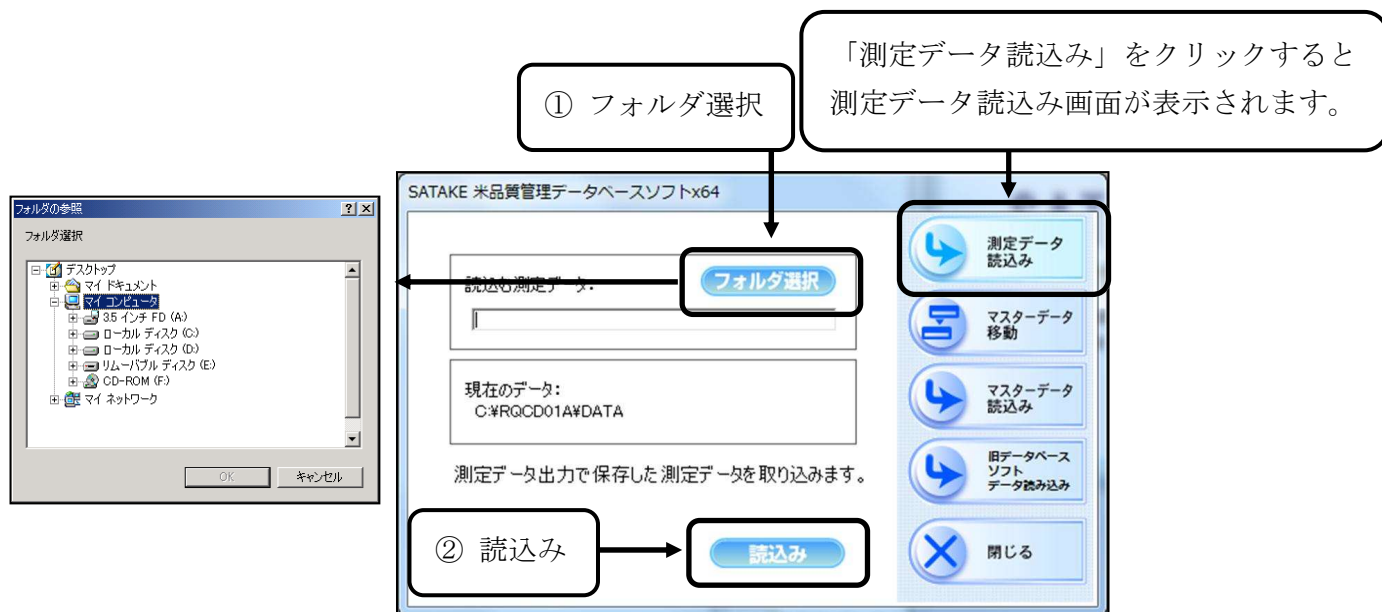
4④ 旧データベースソフトデータ読み込み

既存の穀粒判別器データベースソフトのデータを読み込み、本ソフトウェアのデータベースへ保存します。

6-2 測定データ読み込み

6-2-1 測定データ読み込みの操作

一覧画面にある「データ出力」機能で出力した測定データ(画像含む)を読み込み保存します。



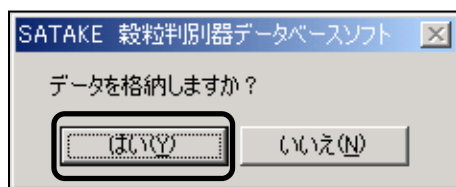
① フォルダ選択

データ読み込み先フォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、読み込み先フォルダの選択画面が表示されるので、あらかじめデータ出力しているデータフォルダを選択してください。

② 読み込み

選択した測定データを現在のデータベースへ読み込みます。

データ読み込みの確認メッセージが表示されます。読み込みを実行する場合は、「はい」を選択してください。

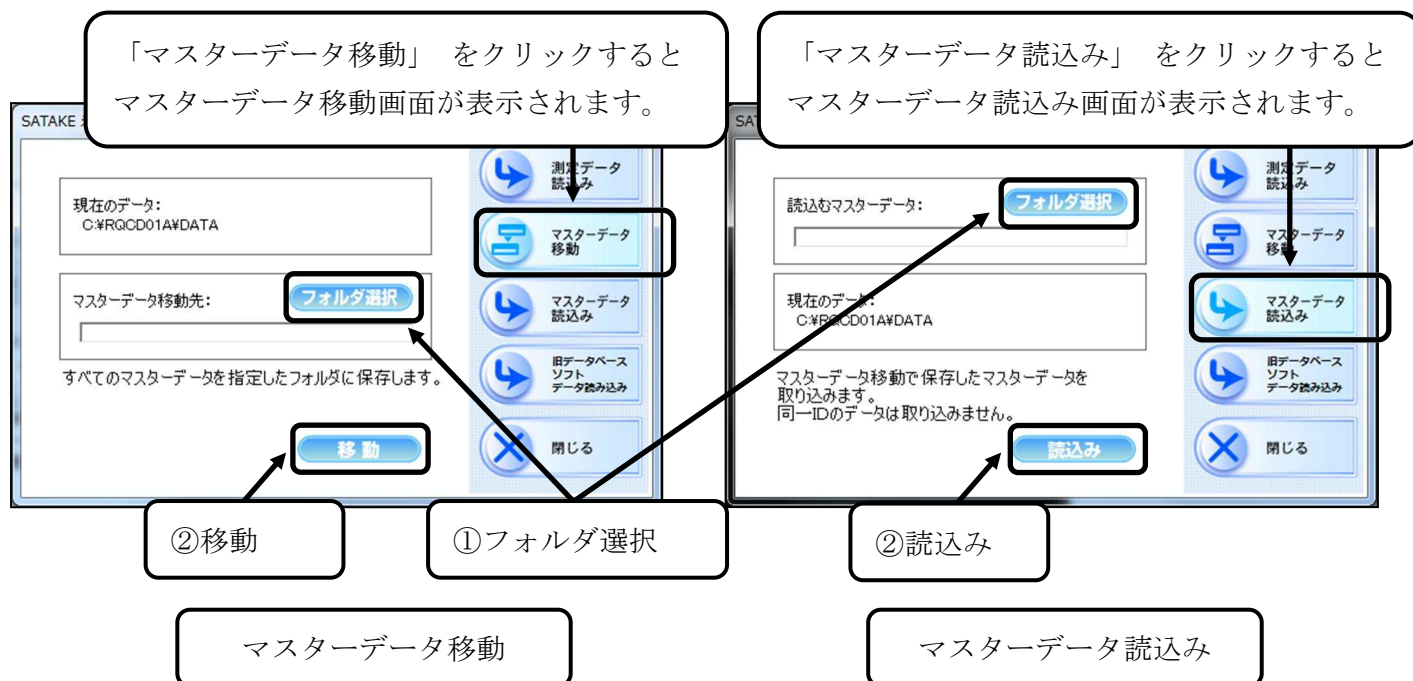


注意 1) 既に保存されているデータと同一データ (ソフト No とサンプル No が一致するもの) と判断した測定データは読み込みません。

注意 2) データ読み込みを行う際には、ハードディスクの残り容量に注意してください。

6-3 マスターデータ移動と読み込み

マスターデータの移動と読み込み機能を説明します。



6-3-1 マスターデータ移動と読み込みの操作

マスターデータを任意の場所にバックアップ、またバックアップしたマスターデータを読み込みます。

① フォルダ選択

i) 「マスターデータ移動」画面での操作

マスターデータ移動（コピー）先フォルダを選択します。

ii) 「マスターデータ読み込み」画面での操作

マスターデータ読み込み先フォルダを選択します。

② 移動と読み込み

i) 「マスターデータ移動」画面での操作

フォルダ選択で移動（コピー）先として選択されたフォルダ内へマスターデータを移動します。

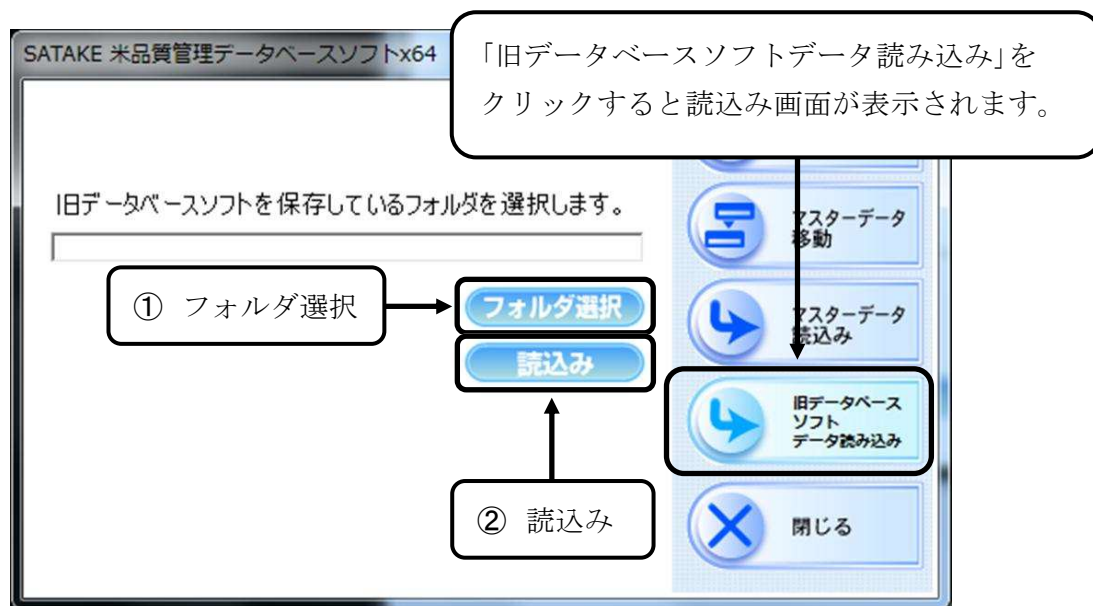
ii) 「マスターデータ読み込み」画面での操作

フォルダ選択で読み込み先として選択されたフォルダ内のマスターデータを現在のマスターデータベースへ読み込みます。

注意） マスターデータを読み込む場合、同一マスターコードのデータは自動的に読み込みません。

6-4 旧データベースソフトデータ読み込み

6-4-1 旧データベースソフトデータ読み込みの操作



① フォルダ選択

旧データベースソフトの **【DATA】** フォルダを選択します。

注意 1) 通常は旧データベースソフトをお使いのパソコンの **C ドライブ** もしくは **C ドライブの Program Files** の **SATAKE** フォルダの中に **DATA** フォルダがあります。

注意 2) くれぐれも違うフォルダを選択しないようにしてください。本ソフトウェアのデータベースが壊れる可能性があります。あらかじめデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。

② 読み込み

フォルダ選択で読み込み先として選択されたフォルダ内のデータを現在のデータベースへ読み込みます。

7) 測定分類について

7-1 穀粒判別器の測定分類

7-1-1 うるち玄米の測定分類

うるち玄米の大分類・中分類・小分類の分類内容について説明します。

大分類、中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

大分類	中分類	小分類
整粒	整粒	整粒
胴割粒	胴割粒	胴割粒
その他	未熟粒	乳白粒
		基部未熟粒
		腹白未熟粒
		青未熟粒
		その他未熟粒
	被害粒	碎粒
		発芽粒
		芽くされ
		茶米
		斑点粒
		虫害粒
		病害粒
		奇形粒
		その他被害粒
	死米	青死米
		白死米
	着色粒	全面着色粒
		部分着色粒
		赤米

7-1-2 うるち精米の測定分類

うるち精米の大分類・中分類・小分類の分類内容について説明します。

大分類、中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

大分類	中分類	小分類
完全粒	完全粒	完全粒
		胴割粒
碎粒	碎粒	碎粒
その他	粉状質粒	全粉状質粒
		半粉状質粒
		腹背白粒
	被害粒	損傷粒
		その他被害粒
		カメムシ
	着色粒	イネシン
		全面着色粒
		異種
	異種異物	異物

※イネシンとはイネシンガレセンチュウ着色を指します。

7-1-3 醸造用玄米の測定分類

醸造用玄米の大分類・中分類・小分類の分類内容について説明します。

大分類、中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

大分類	中分類	小分類
整粒	整粒	整粒
胴割粒	胴割粒	胴割粒
その他	未熟粒	乳白粒
		基部未熟粒
		腹白未熟粒
		青未熟粒
		その他未熟粒
	被害粒	碎粒
		発芽粒
		芽くされ
		茶米
		斑点粒
		虫害粒
		病害粒
		奇形粒
		その他被害粒
	死米	青死米
		白死米
	着色粒	全面着色粒
		部分着色粒
		赤米

8) Q & A

ソフトウェア使用時にトラブルが発生した場合の原因とその対処方法を紹介します。

8-1 困ったときには

本ソフトウェアが起動出来ない。

- 専用 USB メモリがパソコンに接続されていない可能性があります。
→ 本ソフトウェアに付属の USB メモリの接続を確認して、再度ソフトウェアを起動してください。
- ソフトウェアが正常にインストール出来ていない可能性があります。
→ 本ソフトウェアを一旦アンインストールしてから再度インストールしてください。
- データベースが読み込めていない可能性があります。
→ データの保存先を変更していないか確認してください。

穀粒判別器との通信が出来ない。

- パソコン側の通信設定が正しく設定されていない可能性があります。
→ P- 23 - 『2-1 穀粒判別器シリアル通信設定 RGQI90 型』を確認して、再度設定を行ってください。
- 新規レコード作成を行っていない可能性があります。
→ 測定画面にて新規レコード作成を行ってください。
- 穀粒判別器の電源が切れている、またはウォームアップ中の可能性があります。
→ 穀粒判別器の電源を入れ、ウォームアップ終了を待って、再度通信確認を行ってください。
- 穀粒判別器とパソコンが USB ケーブルで接続されていない可能性があります。
→ 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続してください。
穀粒判別器の再起動と USB ケーブルを抜き差しすることで通信が可能になることもあります。
→ USB ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。
別の USB ケーブルにて接続確認を行ってください。
- 穀粒判別器のドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。
→ 穀粒判別器のドライバーを一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。
- RGQI90 型の場合、本機の設定がされていない可能性があります。
→ P- 24 - 『2-2 穀粒判別器本体の通信設定変更 RGQI90 型』を確認して、再度設定を行ってください。
- サポート対象外の OS を使用している可能性があります。
→ お使いの OS が対象の OS かどうか確認を行ってください。

食味計との通信が出来ない。

- USB シリアルコンバーターのドライバーがインストールされていない可能性があります。
 - 再度インストール手順を確認して、インストールしてください。
 - USB シリアルコンバーターの故障、RS232C ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。
別のケーブルにて接続を行ってください。
- PC 側の通信設定が正しく設定されていない可能性があります。
 - P- 25 -『2 - 3 食味計シリアル通信設定』を確認して、再度設定を行ってください。
- 食味計本体側の設定が正しく設定されていない可能性があります。
 - P- 27 -『2 - 4 食味計本体の通信設定変更』を確認して、再度設定を行ってください。

帳票の印刷が出来ない。

- プリンターとの接続・設定が正常に行われていない可能性があります。
 - コンピュータとプリンターの接続及びプリンターの設定を確認してください。
 - Windows の【コントロールパネル】⇒【プリンター設定】⇒【通常使うプリンター】に設定されたプリンターで印刷されます。
 - 画像付き単票印刷を行う場合、表反射画像データの無いデータは印刷されません。

データ受信に時間がかかる。

- ソフトウェアの動作環境を確認してください。
 - コンピュータのスペックを確認してください。
 - 画像受信設定にて、受信画像数を少なくしてください。

ソフトウェアの動作が不安定になる。

- ソフトウェアの動作環境に問題があります。
 - コンピュータのスペックを確認してください。
 - コンピュータの再起動を行って、再度操作を実行してください。
 - 本ソフトウェア以外のソフトウェアが起動している可能性があります。
他に起動しているソフトウェアを終了させてください。(常駐ソフトウェアを含む)

エラーが発生する。

- 「ソフトウェアの動作が不安定になる」の項目も併せて確認してください。
 - 改善されない場合は、『エラー内容』・『エラーが発生する条件』・『お使いの PC の OS ・ CPU ・メモリ ・ 空き HDD 容量』を最寄りの営業所に連絡してください。
あらゆる PC 環境での確認は出来ておりませんので、環境によっては不具合が発生する可能性があります。対応にお時間をいただく可能性もございますがご了承ください。

本ソフトウェアの仕様が取扱説明書と異なる。

- 本ソフトウェアのバージョンによっては、取扱説明書の内容と仕様が異なる場合があります。
 - 本ソフトウェアは、常に改善、修正を行っております。
従って、予告無く仕様変更が発生する場合がありますが、ご了承ください。

株式会社 **サタケ**

広島本社 ■ 広島県東広島市西条西本町2番30号 〒739-8602

東京本社 ■ 東京都千代田区外神田4丁目7番2号 〒101-0021

サタケ のホームページ <https://satake-japan.co.jp/>
